

支出項目

政務活動費

研修・会議費

No.1

6 年度 月 日		内容	支出額 (円)	累計額 (円)
5	27			
5	28	木山議員 関東若手議員の会 公式研修in群馬	19,374	19,374
7	22			
7	23	木山議員 関東若手議員の会 総会及び公式研修in神奈川	5,920	25,294
8	5			
8	7	木山議員 全国若手議員の会 30周年記念式典及び総会・研修会	15,660	40,954
8	27			
1	27	長谷川議員 障がいのある人とする舞台芸術表現と鑑賞のための講座 (※交通費補助▲28,772円)	81,718	122,672
10	9			
10	10	会派 第19回全国市議会議長会 研究フォーラムin盛岡	166,980	289,652
11	19			
11	20	木山議員 関東若手議員の会 公式研修in神奈川	6,960	296,612
		研修・会議費合計	296,612	

政 務 活 動 報 告 書

令和6年5月31日

茅ヶ崎市議会議長 岸 正明 様

絆・新政・新しい風 木山 耕治

令和6年5月27日から28日までの2日間の所管に関する事務の調査をしました結果、次のとおり報告します。

- 1 研修名称 関東若手議員の会 公式研修 in 群馬
- 2 参加議員 木山 耕治
- 3 研修日時 令和6年5月27日（月）から5月28日（火）まで2日間
- 4 研修会場 笠懸西小学校／Haji-Maru／オープンハウスアリーナ
- 5 研修内容 別紙のとおり
- 6 備 考



関東若手議員の会 公式研修 in 群馬 参加報告書

研修概要	
内 容	5月27日(月) 研修1日目 群馬県みどり市 【研修1】 「令和4年度開校 持続可能な学校づくりについて」 ・会場 笠懸西小学校(群馬県みどり市笠懸町鹿 3060-1) ・講師 みどり市教育委員会 【研修2】 「旧宿場町のリソースを活かしたリノベーションまちづくり」について ・会場 Haji-Maru(みどり市大間々町大間々1389-6) ・講師 いろという代表 片山翔平氏／群馬県みどり市担当者 5月28日(火) 研修2日目 群馬県太田市 【研修3】 スポーツ(群馬クレインサンダース)を通じたまちづくりについて ・会場 オープンハウスアリーナ (群馬県太田市飯塚町 1059) ・講師 群馬クレインサンダース運営会社
考 察	【研修1】 「令和4年度開校 持続可能な学校づくりについて」 群馬県みどり市の笠懸西小学校は、少子化の影響により全国的に小学校の統廃合が進んでいるこのご時世の中、群馬県下一のマンモス校であった笠懸小学校より分離し、令和4年に児童数426名で開校した新設校です。 校舎は、自然換気システムや地中熱利用を取り入れるなど最新の設備が施されています。また、「ラーニングヒル」と呼ばれる大きな階段や「みどりプラザ」と呼ばれる半屋外空間、図書室前や教室前の多目的スペースなど、様々な利用に対応できる空間があり、さらに全教室に電子黒板が設置されているなど、最新の技術をふんだんに取り入れた小学校です。 総工費約48億円と、一つの小学校にかかる費用としてはかなり高額ではありますが、学校の基本目標である「自然を大切にしながら、主体的によりよく生きようとする」とともに、新たな学校の歴史を作り出そうとする児童を育成する」教育に資する投資とし

て素晴らしい決断であったと感じました。

また、みどり市の財政状況として、地方交付税の交付団体ではあるが、みどり市内にある競艇場、ボートレース桐生の収入増が顕著であり、みどり市長は「大幅に増えた収益金を少子化対策に重点的に配分することで、街を活性化させていきたい」としているため、さらなる子ども政策に注目したいと考えています。



【研修2】

「旧宿場町のリソースを活かしたリノベーションまちづくり」について

旧宿場町のリソースを活かしたリノベーションまちづくりについては、旧宿場町・大間々町の歴史的資源や空き家を活用し、民間主導によるカフェや複合施設の整備、人材育成プログラム「家守塾」の開催、家守会社の設立などを通じて、地域課題の解決とエリア価値の向上を目指すリノベーションまちづくりを官民連携で展開しており、今後は事業の持続化と起業促進を視野に多様な主体の参画を進めています。

本事業は、行政が主導するのではなく、民間主導で地域課題をビジネス視点で解決するモデルである点が大変意義深い。特に、空き家等の利活用を通じた「小さな事業の積み重ね」がまち全体の価値を底上げする点は、地方都市が抱える共通課題に対して有効なアプローチであると評価されます。今後は、人的ネットワー

ク形成や市民の巻き込み方なども含め、本市への展開等を研究していきたいです。



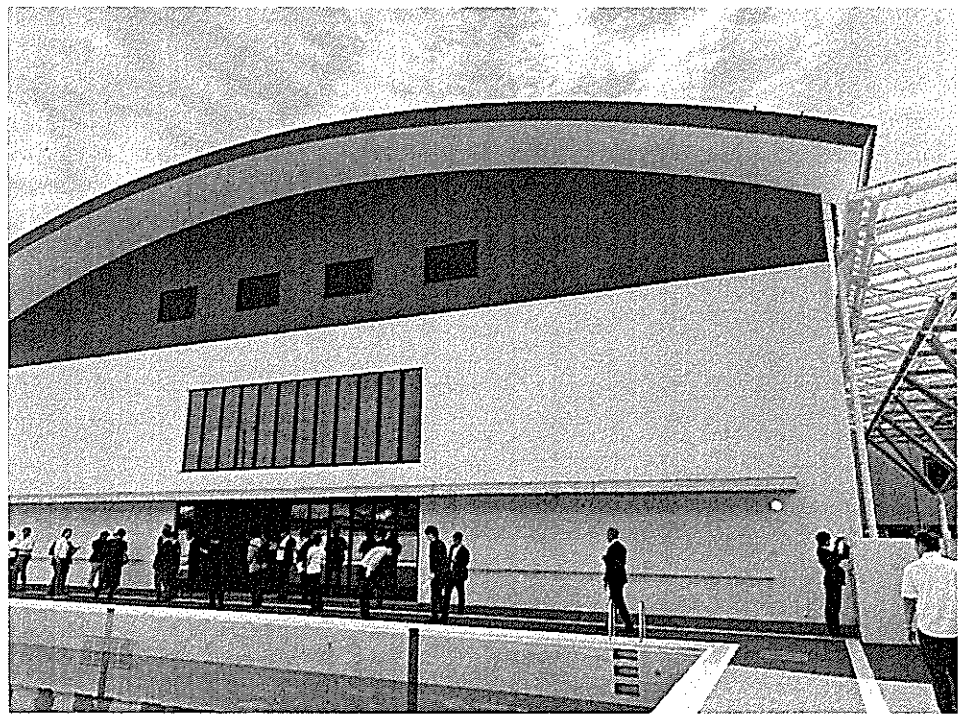
【研修3】

スポーツ(群馬クレインサンダース)を通じたまちづくりについて

太田市のスポーツを通じたまちづくりについては、企業型クラウドファンディングや国、県の交付金を活用してオープンハウスアリーナを新設し、プロバスケットボールB1所属の群馬クレインサンダースをまちぐるみで応援し、経済の活性化を図っています。

茅ヶ崎市も、湘南ユナイテッドBC(B3)のホームタウンとして、太田市に見習うべき点は多々あると感じました。質疑応答の中で、湘南ユナイテッドBCのファン層の拡充策について質問をしましたが、やはりハードもさることながら、強いチームであればファンも増えるとのことで、湘南ユナイテッドBCを盛り上げるためには選手強化とB2昇格が鍵であると感じました。

また運営面での資金調達において企業型クラウドファンディングを活用した点については、本市においても有効であると考えますので、大型事業だけでなくさまざまな分野での活用を模索していきたいと思います。



関東若手議員の会 関東公式研修in群馬

群馬エリア研修の日程をお知らせします。

【5月26日（前夜祭 桐生市）】宿泊場所：桐生駅周辺

19:00～ Bryu（桐生市天神町1-4-11）

21:00～ THE CORNER（桐生市本町5丁目49番地）＊近藤芽衣市議がオーナーのお店です

【5月27日（研修1日目 みどり市）】

研修1 13:00～14:00 「令和4年度開校 持続可能な学校づくりについて

会場：笠懸西小学校（群馬県みどり市笠懸町鹿3060-1）

講師：みどり市教育委員会

研修2 14:30～ 「旧宿場町のリソースを活かしたリノベーションまちづくり」について

会場：Haji-Maru（みどり市大間々町大間々1389-6）

講師：いろいろ代表 片山翔平 様 みどり市担当者

○オプションツアー

16:00～ 近藤酒造

◎懇親会

18:00～ 懇親会（太田市内で検討中）宿泊場所：東武太田駅周辺

【5月28日 研修2日目 太田市】

研修3 10:00～ スポーツ（群馬クレインサンダース）を通じたまちづくりについて

会場：群馬県太田市飯塚町1059

概要：群馬クレインサンダース運営会社による事業説明や講話、質疑応答後に「オープンハウスアリーナ施設内を見学
視察終了後～ 役員会(役員のみ)

日程 木山耕治@茅ヶ崎市

5/26(日) 19:00～ BRYU ×

5/26(日) 19:00～ THE CORNER ×

5/27(月) 研修1 13:00～「令和4年度開校 持続○

5/27(月) 研修2 14:30～「旧宿場町のリソース?○

5/27(月) 16:00～オプションツアー(近藤酒造) ○

5/27(月) 18:00～懇親会 ○

5/27(月) JR岩宿駅送迎希望者 ×

5/27(月) 東武新桐生駅送迎希望者 ×

5/28(火) 研修3 10:00～スポーツ（群馬クレイ:○

5/28(火) 視察終了後～役員会(役員のみ) ×

5/28(火) オープンハウスアリーナまでの送迎希望 ×

コメント どうぞよろしくお願いいたします。

出張旅費計算書

摘 要	関東若手議員の会 公式研修in群馬 栃木県栃木市、佐野市			会派	絆・新政・新しい風		
期 日	令和6年5月27日から5月28日まで 【2日間】			出張者	木山 耕治		
経 路		日数	泊数	キロ数	運賃（円）	急行料金 （円）	金額（円）
茅ヶ崎 — 小 山 （ＪＲ東海道本線）		1	1	58.6	3,410	—	3,410
小 山 — 岩 宿 （両毛線）				26.9			
大間々 — 相 老 （わたらせ渓谷鐵道）				4.2	240	240	
相 老 — 太 田 （東武桐生線）				16.9	324	—	324
太 田 — 東小泉 （東武小泉線）		1		9.1	670	—	670
東小泉 — 館 林 （東武小泉線）				11.0			
館 林 — 久 喜 （ＪＲ宇都宮線）				26.9			
久喜 — 茅ヶ崎 （ＪＲ東海道本線）					107.5	1,980	—
計		2	1	261.1	6,624	0	6,624
	日 数			単 価(円)		金 額(円)	
日 当	2			2,400		4,800	
宿泊費(朝夕食なし)	1			4,950		4,950	
朝食代	1			1,000		1,000	
夕食代	1			2,000		2,000	
研修参加費	2			0		0	
合 計						¥19,374	

※岩宿駅～大間々駅間及び太田駅～オープンハウスアリーナ間の移動は参加議員の乗り合いで移動するため費用負担なし。

領 収 書

再 発 行 (1)

発行 No.2511692372

表示日: 2025年4月14日

下記、宿泊施設を代理して正に領収いたしました。

宛名 絆・新政・新しい風 様

金額 10%対象
¥4,950-(税込・サ込) 内 消費税額 ¥450
※但し、宿泊代金として(クレジットカード決済)

予約番号 OJKAC9WL

ご利用施設 ビジネスホテル太田イン
(じゃらんnet)

宿泊日 2024年5月27日より 1泊

決済日 2024年5月17日

※本紙は電子的に保持している領収データを画面表示したものです。
※発行後に予約変更、キャンセルされた場合、本領収書は無効になります。

株式会社
リクルート

株式会社 リクルート

〒100-6640

東京都千代田区丸の内1-9-2 クラントウキョウサウスタワー

登録番号:T5010001149426

ご 利 用 明 細 書

発行 No.2511692372

表示日: 2025年4月14日

宿泊内容

宿泊日	予約番号	施設名	人数	室数	泊数
2024年5月27日 (月)	OJKAC9WL	ビジネスホテル太田イン	1	1	1

宿泊代表者氏名

木山 耕治 様

政 務 活 動 報 告 書

令和6年7月31日

茅ヶ崎市議会議長 岸 正明 様

絆・新政・新しい風 木山 耕治

令和6年7月22日から23日までの2日間の所管に関する事務の調査をしました結果、次のとおり報告します。

- 1 研修名称 関東若手議員の会 公式研修 in 神奈川
- 2 参加議員 木山 耕治
- 3 研修日時 令和6年7月22日（月）から7月23日（火）まで2日間
- 4 研修会場 J R川崎駅前ダイス6F「煌蘭」／川崎市子ども夢パーク
- 5 研修内容 別紙のとおり
- 6 備 考



関東若手議員の会 公式研修 in 神奈川 参加報告書

研修概要	
内 容	7月22日(月) 研修1日目 川崎市 【研修1】 「行政のデジタル化を推進するための人事組織改革」 ・会場 「煌蘭」(川崎市川崎区駅前本町8 川崎ダイス6階) ・講師 元デジタル庁人事・組織開発最高責任者 唐澤俊輔氏 【研修2】 「川崎市子ども夢パーク視察」 ・会場 川崎市子ども夢パーク(川崎市高津区下作延5-30-1) ・講師 認定NPO法人フリースペースたまりば 理事長 西野博之氏
考 察	【研修1】 「行政のデジタル化を推進するための人事組織改革」 講師の唐澤氏は、新卒で日本マクドナルド(株)入社後、28歳にして史上最年少で部長職に就任。マーケティング部長や社長室長として企業のV字回復に貢献。その後、(株)メルカリの人事責任者・社長室長を務め、さらに、SHOWROOM(株)でCOOとして事業と組織の成長を推進。その活躍から、デジタル庁の立ち上げに参画し、Chief Corporate Officerに就任。行政のデジタル化を官民協働して推進するための組織改革を実行してきた。 唐澤氏曰く、組織とは、シリコンバレーから生まれた「カルチャーデッキ(Culture Deck)」を軸に考えるべきであるとしている。カルチャーデッキとは、「企業の文化、価値観、経営方針をまとめたプレゼンテーションやドキュメント」のことで、特に有名なものとして、Netflixのカルチャーデッキが挙げられ、これは「シリコンバレーで最も重要なドキュメントのひとつ」とも言われている。 カルチャーデッキの主な目的は、企業のビジョンや価値観、働き方のスタンスを明確にし、社員や候補者に対して「どのような人がこの企業に適しているか」を伝えることである。企業文化が成功に大きな影響を与えるシリコンバレーでは、採用、リーダー

シップ、成果主義、働き方に関する方針が特に重視される。

Netflixのカルチャーデッキが特に注目されたのは、従来の企業の在り方とは異なる革新的な考え方を示していたからである。例えば以下のようなポイントが挙げられる。

1. 自由と責任

社員は自由度が高い環境で働くが、その自由には責任が伴う。

2. 厳しいパフォーマンス基準

最高の成果を求め、適さない社員は早期に退職を促されることもある。

3. プロセスより結果を重視

手続きやルールに縛られず、結果にフォーカスする。

4. 率直なフィードバック文化

誰もが意見を言いやすい環境を提供し、オープンなコミュニケーションを奨励する。

こうしたカルチャーデッキは、企業の成長に大きな影響を与え、透明性を高め、企業内外からの信頼を得る手段として広く使われるようになった。

カルチャーデッキのような企業文化の明確化と透明なコミュニケーションを重視する手法を地方自治体の行政運営に反映させるためには、いくつかのポイントを考慮する必要がある。行政の性質や目標は企業とは異なるが、カルチャーデッキの要素を効果的に導入することで、組織運営の透明性向上や住民サービスの質向上が期待できる。

1. ビジョンとミッションの明確化

自治体の役割や長期的なビジョン、ミッションを明確にすることが重要である。これには、住民の幸福や持続可能な地域発展といった自治体固有の価値観を強調することが求められる。例えば、環境保護、地域コミュニティの活性化、高齢者支援などの具体的な課題に対する目標を掲げることができる。

2. 行政職員の行動指針の共有

カルチャーデッキのように、職員がどのように行動すべきかを具体的に示すことで、組織の一体感を高めることができる。

例えば、住民との透明で誠実なコミュニケーション、効率的な問題解決、チームワークの重要性を強調したガイドラインを作成し、全職員に共有することが考えられる。

3. 透明性と説明責任の強化

カルチャーデッキの特徴である「透明性」と「オープンなフィードバック文化」は、自治体運営にも役立つ。行政の意思決定プロセスを公開し、住民が理解しやすい形で情報を提供することで、信頼感を醸成する。また、住民からのフィードバックを積極的に受け入れ、迅速かつ効果的に反映させる体制を構築することが重要である。

4. 柔軟な運営方針と責任の明確化

企業のカルチャーデッキで見られる「自由と責任」の考え方も自治体に適用できる。例えば、自治体の職員が自主的にプロジェクトを提案・実行する自由を与える一方で、その結果に対する責任を持つ体制を整えることで、イノベーションを促進できる。具体的には、プロジェクトベースの業務や地域課題の解決を目的としたチームを編成し、それぞれに明確な目標を与えることが挙げられる。

5. 結果重視の文化の導入

自治体ではプロセスや形式に重きを置くことが多いが、カルチャーデッキのように「結果重視」の姿勢を取り入れることで、行政サービスの質を向上させることができる。各施策やプロジェクトに対して、具体的な成果や影響を評価し、その結果に基づいて次の施策を考える姿勢を浸透させるべきである。

6. 住民参加の促進

カルチャーデッキが内部の従業員向けであるのに対し、自治体では住民や市民団体など、外部ステークホルダーの参加も重要である。住民との協働やパートナーシップを重視する姿勢を明確に打ち出し、住民が意見を出しやすい環境を整えることが求められる。これには、オンラインの意見募集やタウンホールミーティングなど、透明でオープンな場を提供することが効果的である。

7. 倫理と倫理観の強調

カルチャーデッキには倫理的な行動指針が含まれることが多く、地方自治体の運営でも同様に高い倫理観が求められる。政治倫理条例やハラスメント防止の強化などを、職員や議員に対

しても明確に示すことで、信頼性の高い行政運営を目指す。例えば、茅ヶ崎市議会における政治倫理に関する規定も、こうしたカルチャーデッキ的な考え方に通じるものといえる。

これらのアプローチを取り入れることで、地方自治体の運営においても、より明確な方向性を示し、住民や職員との信頼関係を築くことが可能となると考える。



【研修2】

「川崎市子ども夢パーク視察」

川崎市の「子ども夢パーク」は、子どもたちが自由に過ごせる場所を提供し、自己表現や遊びを通じて社会的・情緒的な成長を促す施設である。この施設は、既存の教育や社会的枠組みに捉われることなく、子どもたちが自分のペースで成長できる環境を整えていることが大きな特徴であり、その活動は多方面から注目されている。

1. 概要

子ども夢パークは、遊びや交流を通じて子どもたちが自発的に学び成長できる場所である。具体的には、遊具や自然環境を活用した自由遊びの場を提供し、子どもたちが自主的に活動で

きることを重視している。このような環境は、学校や家庭では得られない学びや経験を提供し、子どもたちが社会的スキルや自己肯定感を育むための重要な機会となる。また、子どもたちが自由に他者と関わり、自分自身の考えや感情を表現できる場でもあり、特に不登校の子どもたちにとっては、社会とのつながりを保つ大切な場所となっている。

2. 子どもたちの成長と自己肯定感

子ども夢パークを利用する子どもたちは、自己決定や自由な遊びを通じて自己肯定感を高める機会を得ている。日本の子どもたちの自己肯定感は、先進国の中でも非常に低い水準にあるという指摘がある。多くの子どもたちは、競争的な教育環境や社会的プレッシャーの中で自己評価を下げてしまう傾向が強い。しかし、子ども夢パークのような自由な環境では、子どもたちが「自分で決める力」や「自分を認める力」を養うことができ、これが自己肯定感の向上に大きく寄与している。自己肯定感が高まることで、子どもたちは将来的に社会での適応力や問題解決能力を身につけやすくなる。

3. 社会的課題と子どもの居場所

現在、不登校児童生徒や子どもの自死、いじめの認知件数が高止まりしているという現状は深刻である。この背景には、子どもたちが安心して過ごせる「居場所」の不足があると考えられる。学校や家庭という従来の枠組みに適応できない子どもたちは、自己表現や社会的関係を築く機会が限られ、その結果として孤立感やストレスを強く感じることもある。したがって、子どもたちが自由に過ごせる居場所を提供することは、これらの社会的課題を解決するために非常に重要である。

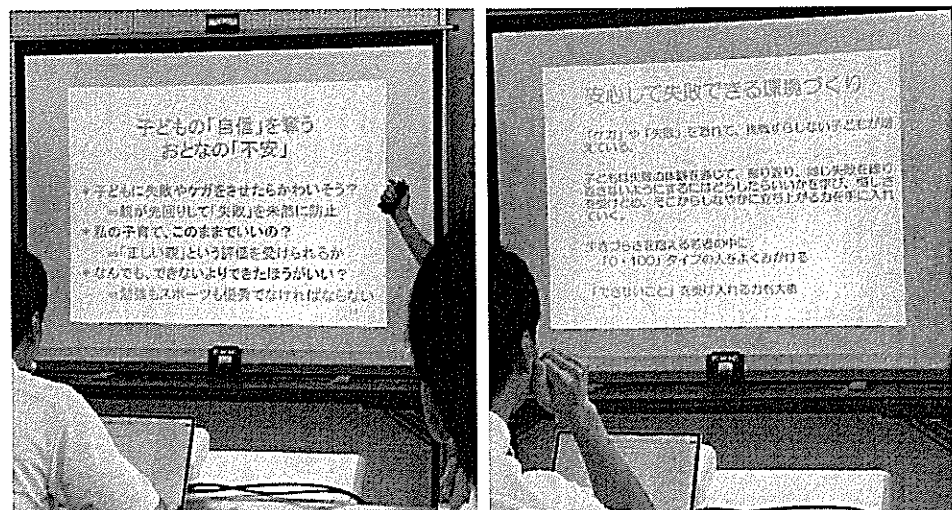
4. 茅ヶ崎市における子ども夢パークのような場所の実現可能性

子ども夢パークのような施設を作るには、広大な土地や莫大な予算が必要である。しかし、茅ヶ崎市のように広大な土地がない地域では、同様の施設を作ることは難しいかもしれない。それでも、子どもたちのための居場所づくりは可能であり、いくつかの代替案が考えられる。

まず、既存の公共施設や公園を活用し、特定の時間帯に自由

さらに、デジタル技術を活用したオンラインの居場所づくりも検討できる。物理的なスペースが限られている場合、オンラインで子どもたちが交流できるプラットフォームを提供することで、地域に関係なく参加できる場を提供することができる。

子ども夢パークは、現代の子どもたちが直面する社会的・教育的な課題に対して、重要な解決策を提供している。自由な遊びと自己決定を通じて、子どもたちは自己肯定感を高め、社会的スキルを育むことができる。また、不登校やいじめ、孤立といった問題を抱える子どもたちにとっては、安心して過ごせる居場所としての価値が極めて高い。したがって、地域社会における子どもの居場所づくりは、今後ますます重要な課題となるであろう。茅ヶ崎市のような土地制約がある地域でも、創意工夫を凝らし、代替案を通じて子どもたちに安心できる環境を提供することは十分に可能であり、その実現に向けた取り組みが期待される。



令和 6 年 6 月吉日

会員各位



関東若手議員の会

会長 内藤 幸男 (神奈川県座間市議会)

関東若手議員の会神奈川エリア

代表 石井 せいご (神奈川県藤沢市議会)

関東若手議員の会「総会及び公式研修 in 神奈川」のご案内

拝啓 大暑のみぎり、皆様におかれましては益々ご健勝にてご活躍のことと存じます。日頃より当会の活動に対しまして、格別のご高配とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

標記の件につきまして、下記の通り開催の運びとなりました。ご多用の事とは存じますが、多くの皆様にご出席賜りますようご案内申し上げます。

敬具

記

【 日 程 】 2024 年 7 月 22 日 (月)・23 日 (火)

【開催場所】 神奈川県川崎市内

【 行 程 】 22 日 (月) 場所：煌蘭 (神奈川県川崎市川崎区駅前本町 8 番地 川崎ダイス 6 階)

15:00～16:00 総会 (総会終了後卒業式)

16:00～17:30 研修①「行政のデジタル化を推進するための人事組織改革」

講師：元デジタル庁人事・組織開発最高責任者 唐澤俊輔氏

23 日 (火) 場所：川崎市子ども夢パーク

(神奈川県川崎市高津区下作延 5 丁目 30 番地 1 号)

10:00～12:00 研修②「川崎市子ども夢パーク視察」

<https://www.yumepark.net/index.html>

※ 夢パークは人数制限がありますので予めご了承ください。

【申し込み】 7/12 迄にこちらのフォームより入力ください。 <https://forms.gle/epeCQ2PSLyPxj9Fz9>

【問 合 せ】 神奈川エリア事務局 出口景介 (神奈川県三浦市議会)

090-5303-7573 keisuke.deguchi1988@gmail.com

研修の詳細

研修①「行政のデジタル化を推進するための人事組織改革」

（講師：元デジタル庁人事・組織開発最高責任者 唐澤俊輔氏）

講師プロフィール：新卒で日本マクドナルド(株)入社後、28歳にして史上最年少で部長職に就任。マーケティング部長や社長室長としてV字回復に貢献。その後、(株)メルカリの人事責任者・社長室長を務め、さらに、SHOWROOM(株)でCOOとして事業と組織の成長を推進。その活躍から、デジタル庁の立ち上げに参画しChief Corporate Officerに就任。行政のデジタル化を官民協働して推進するための組織改革を実行してきた。

研修②「川崎市子ども夢パーク視察」

神奈川県川崎市高津区にある子どものための遊び場。2000年に制定された「川崎市子どもの権利に関する条例」をもとに官民協同で作られた。工場跡地を利用した約1万㎡の広大な敷地にはプレーパークエリア、音楽スタジオや創作スペース、ゴロゴロ過ごせる部屋のほか、学校に行っていない子どものための「フリースペースえん」が開設されている。未就園児から高校生くらいまで、幅広い年齢の子どもが利用している。

* 川崎市子どもの権利に関する条例（2000年12月21日に川崎市議会で成立し、2001年4月1日から施行されている条例。子どもの権利や理念をまとめた前半と、子どもの生活の場に応じた権利保障のあり方や具体的な保障の仕組みを定めた後半からできている。

* ドキュメンタリー映画「ゆめパのじかん」 <https://www.youtube.com/watch?v=ZdyP7K2gp-g>

* 視察にあたっての諸注意事項 <https://www.tamariba.org/shisatsu/>

* 夢パーク内のプレーパークを歩いて見学されたい場合は、泥で多少汚れても良い靴でいらしてください。

以上

出張旅費計算書

摘 要	関東若手議員の会 総会及び公式研修in神奈川 神奈川県川崎市			会派	絆・新政・新しい風		
期 日	令和6年7月22日から7月23日まで 【2日間】			出張者	木山 耕治		
経 路		日数	泊数	キロ数	運賃（円）	急行料金 （円）	金額（円）
茅ヶ崎 — 川 崎 （ＪＲ東海道本線）		1	0	40.4	770	—	1,540
川 崎 — 茅ヶ崎 （ＪＲ東海道本線）				40.4	770		
茅ヶ崎 — 川 崎 （ＪＲ東海道本線）		1	0	40.4	990	—	1,980
川 崎 — 津田山 （ＪＲ南部線）				13.9			
津田山 — 川 崎 （ＪＲ南部線）				13.9	990		
川 崎 — 茅ヶ崎 （ＪＲ東海道本線）				40.4			
計		2	0	189.4	3,520	0	3,520
		日 数		単 価(円)		金 額(円)	
日 当		2		1,200		2,400	
研修参加費		2		0		0	
合 計						¥5,920	

政 務 活 動 報 告 書

令和6年8月31日

茅ヶ崎市議会議長 岸 正明 様

絆・新政・新しい風 木山 耕治

令和6年8月5日から7日までの3日間の所管に関する事務の調査をしました結果、次のとおり報告します。

- 1 研修名称 全国若手議員の会 30周年記念式典及び総会・研修会
- 2 参加議員 木山 耕治
- 3 研修日時 令和6年8月5日（月）から8月7日（水）まで3日間
- 4 研修会場 千葉市役所／衆議院第一議員会館
- 5 研修内容 別紙のとおり
- 6 備 考



全国若手議員の会 30周年記念式典及び総会・研修会 参加報告書

研修概要	
内 容	8月5日(月) 研修1日目 千葉市 【研修1】 「千葉市役所新庁舎 視察」 【研修2】 「令和の地方自治のかたち～議員・市長・知事の経験から若手議員に期待すること～」 ・会場 千葉市役所（千葉県千葉市中央区千葉港1－1） ・講師 千葉県知事 熊谷 俊人氏 【研修3】 「全若出身首長トークセッション」 ・登壇者 宮本泰介氏（習志野市長）／伊藤友則氏（香取市長） ／鈴木陽介氏（四街道市長）／橋本浩氏（栄町長） 【研修4】 「取手市・墨田区・登別市の議会改革について」 ・会場 衆議院第一議員会館地下一階大会議室 （東京都千代田区永田町2－2－1） ・講師 SNS media&consulting 株式会社 ファウンダー 堀江 貴文氏 【研修5】 「関東ブロック・東京エリア合同研修」 ・講師 こども家庭庁 初代担当大臣 小倉まさのぶ衆議院議員 【研修6】 「チームラボ ボーダレス 麻布台ヒルズ 視察」
考 察	日本の政治において、若者の政治参加の低下や投票率の減少は、民主主義の健全性を脅かす深刻な課題である。特に、若者の多くが「政治は変えられない」と感じている現状が、その原因の一つとなっており、これは日本社会全体の将来に影響を及ぼす。

若者の政治離れやその背景にある要因を分析し、世界の事例と比較しながら、地方自治の在り方と今後の展望について考察する。

1. 若者が政治を変えられないと感じる理由

多くの若者が政治に対して無力感を抱いている理由として、政治が彼らの生活に直接的な影響を与えていると感じにくいことが挙げられる。特に日本では、高齢者層が大きな政治的影響力を持っており、若者が声を上げてもその影響が反映されにくいと感じられている。また、選挙の結果や政策が短期間で生活に明確な変化をもたらさないことから、政治への関心が薄れがちである。

さらに、政治家と若者のコミュニケーション不足も問題だ。若者が自身の声を政治に届けるためのルートが限られていると感じる一方、政治家も若者に向けた政策やメッセージを十分に伝えられていない。これが、若者が「政治は自分たちのために機能していない」と感じる要因の一つである。

2. 投票率の低下とそのリスク

日本では、投票率が年々低下しており、特に若者層の投票率が著しく低い。この傾向は、民主主義の正当性に対する大きなリスクをもたらす。選挙に参加しない層が増えることで、少数派の意見や特定の年齢層の声ばかりが反映され、政治的なバランスが崩れる可能性がある。高齢者層の投票率が高いことから、政治家は高齢者向けの政策に偏りがちであり、結果として若者の関心がさらに薄れるという悪循環が生じている。

このような状況では、若者が必要とする教育、労働、社会保障といった政策が十分に議論されなくなるリスクが高まり、世代間の不平等が広がる恐れがある。

3. 投票率を上げるための方策

投票率を上げるためには、まず若者が政治に対して関心を持ちやすい環境を整える必要がある。選挙に関する情報を若者に理解しやすい形で提供することが重要であり、学校教育においても、政治や選挙の重要性を具体的に学べる機会を増やすべきだ。

また、投票のハードルを下げる施策も有効である。例えば、オンライン投票や期日前投票の拡充、投票所を若者が集まりやすい場所に設置するなど、投票の利便性を向上させる取り組みが必要だ。さらに、SNS や動画配信プラットフォームを活用して、若者向けの選挙啓発キャンペーンを展開することも、政治への関心を高める効果が期待できる。

4. 若者の政治参加を促すための施策

若者が政治に参加しやすい環境を作るためには、政治家が若者に対して積極的にアプローチすることが不可欠である。特に、若者にとって重要なテーマを扱う政策を提案し、それを分かりやすく伝えることが必要だ。これには、若手議員が積極的に若者との対話を図り、SNS などのデジタルメディアを活用して若者に情報を発信することが効果的である。

また、若者が意見を表明できる場を増やすことも重要である。地域レベルでの若者議会や政策提案ワークショップなどを通じて、若者が自分の意見を直接政治に反映できる機会を提供することで、彼らの政治への関心と参加意欲を引き出すことができる。

5. 若者の政治参加と日本の未来

若者が積極的に政治に参加することは、日本の未来にとって極めて重要である。人口構成が急速に高齢化する中で、若者の声が反映されなければ、世代間の格差が拡大し、社会の持続可能性が損なわれる危険がある。若者が政治に関心を持ち、実際に行動を起こすことで、彼らのニーズに合った政策が実現され、社会全体の活力を高めることができる。

さらに、「政治で我々の生活は良くなる」という意識を持つ人々が増えることで、政治そのものも変わる可能性がある。市民が政治に期待を持ち、行動を起こせば、政治家もそれに応じた政策を提案し、社会全体にプラスの変化が生まれる。全国の若手議員が互いに切磋琢磨し、より良い政策を競い合うことで、日本全体が底上げされ、政治の質が向上することも期待できる。

6. 世界との比較と日本の地方自治の在り方

世界各国と比較すると、日本の若者の政治参加率は低い。例えば、北欧諸国では、若者が政治に積極的に参加しており、その背景には、教育制度の充実や政治参加へのアクセスのしやすさがある。また、アメリカやイギリスでも、若者を対象とした選挙キャンペーンやデジタルメディアの活用が進んでおり、若者の政治参加が促進されている。

日本においても、地方自治のレベルで、若者の声を積極的に取り入れる体制を構築することが重要である。地方自治体が地域の若者に対してオープンな対話の場を提供し、彼らの意見を政策に反映することで、若者が政治に参加する動機を持つことができる。特に、若手議員が地域の課題に取り組む姿を見せることで、若者自身も自らが地域社会に貢献できると感じるようになる。

7. 結論

日本の政治において、若者の政治離れは深刻な問題であり、投票率の低下は民主主義の基盤を揺るがすリスクをはらんでいる。しかし、若者が政治に関心を持ち、積極的に参加することが、日本の未来をより良いものにする鍵である。若手議員が切磋琢磨し、若者の声を政治に反映することで、政治は必ず変わる。そして、その変化が、社会全体の活力を引き上げ、持続可能な未来を築く力となるであろう。

地方自治体が若者との対話を重視し、彼らを政治に引き込む仕組みを強化することで、若者の政治参加が進むことが期待される。また、世界各国の成功事例を参考にしつつ、日本の現状に合った取り組みを進めることで、若者の声がより一層反映される社会を実現することが可能となる。

令和6年7月吉日

全国若手議員の会 会員各位



全国若手議員の会
会長 石井 めぐみ
顧問・30周年特別部会長
杉山 由祥

全国若手議員の会「30周年記念式典及び総会・研修会」のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より当会の活動に対しまして、格別のご高配とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

標記の件につきまして、下記の通り開催の運びとなりました。お忙しいところ大変恐縮ではございますが、万障お繰り合わせの上ご参加賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

【日 程】2024年8月5日（月）・6日（火）・7日（水）

【会 場】第一日目：千葉市役所／第二日目：衆議院第一議員会館／
第三日目：衆議院第一議員会館他

【参 加 費】会員：無料／オブザーバー：3,000 円
※オブザーバー参加は「未加入の全若対象者」が対象です。

【当日スケジュール】（詳細調整中）

8月5日（月）

《集合場所》千葉市役所エントランス

11:00- 12:00	研修①千葉市役所新庁舎 視察
12:00- 13:00	全国役員会（ランチミーティング）
13:30- 15:00	～オープニング～ 開催地首長挨拶 神谷俊一 千葉市長 記念講演① 「令和の地方自治のかたち～議員・市長・知事の経験から若手議員に

	期待すること～（仮） 講師：千葉県知事 熊谷 俊人氏
15：10- 16：30	～全若出身首長トークセッション～ 習志野市長・宮本泰介氏/香取市長・伊藤友則氏/四街道市長・鈴木陽介氏/栄町長・橋本浩氏 他 ～記念式典～ 全若 OB 会会長挨拶 岡田 耕一 豊田市議会議員 30周年記念ロゴ表彰式

8月6日（火）

《会場》衆議院第一議員会館地下一階大会議室

11：30- 12：15	研修②議会改革サミット 『取手市・墨田区・登別市の議会改革について』
13：00- 14：30	第32回全国総会 全若 OB 会会長挨拶 岡田 耕一 豊田市議会議員
15：00- 16：30	記念講演② 『ホリエモンから若手議員へのメッセージ(仮)』 講師：SNS media&consulting 株式会社 ファウンダー 堀江 貴文氏

8月7日（水）

《会場》衆議院第一議員会館地下一階大会議室

午前の 部	～関東ブロック・東京エリア合同研修～ 初代こども家庭庁担当大臣 小倉まさのぶ衆議院議員 講演
午後の 部	チームラボボードレス麻布台ヒルズ視察 ()

【お申し込み】

お申し込みは以下の Google フォームからお願いいたします。

<https://forms.gle/6zDQNSKCcaK91Lfw8>

回答期限 7月21日（日）

【お問い合わせ】

全国若手議員の会事務局長 佐藤 篤(東京都墨田区議会)

メール zenwaka.zenkoku@gmail.com 電話 090-8567-8293



QRコードからどうぞ

以上

出張旅費計算書

摘 要		関東若手議員の会 総会及び公式研修in神奈川 千葉県千葉市・東京都千代田区		会派	絆・新政・新しい風		
期 日		令和6年8月5日から8月7日まで 【3日間】		出張者	木山 耕治		
経 路		日数	泊数	キロ数	運賃（円）	急行料金 （円）	金額（円）
茅ヶ崎 — 品 川 （ＪＲ東海道本線）		1	0	51.8	1,690	—	1,890
品 川 — 千 葉 （ＪＲ横須賀線・総武線）				46.0			
千 葉 — 市役所前 （千葉都市モノレール）				0.8	200	—	
市役所前 — 千 葉 （千葉都市モノレール）				0.8	200	—	1,890
千 葉 — 新 橋 （ＪＲ総武線・横須賀線）				41.1	1,690	—	
新 橋 — 茅ヶ崎 （ＪＲ東海道本線）				56.7			
茅ヶ崎 — 東 京 （ＪＲ東海道本線）		1	0	58.6	990	—	1,170
東 京 — 国会議事堂前 （東京メトロ丸ノ内線）				2.8	180	—	
国会議事堂前 — 東 京 （東京メトロ丸ノ内線）				2.8	180	—	1,170
東 京 — 茅ヶ崎 （ＪＲ東海道本線）				58.6	990	—	
茅ヶ崎 — 東 京 （ＪＲ東海道本線）		1	0	58.6	990	—	1,170
東 京 — 国会議事堂前 （東京メトロ丸ノ内線）				2.8	180	—	
国会議事堂前 — 東 京 （東京メトロ丸ノ内線）				2.8	180	—	1,170
東 京 — 茅ヶ崎 （ＪＲ東海道本線）				58.6	990	—	
計		3	0	442.8	8,460	0	8,460
		日 数		単 価（円）		金 額（円）	
日 当		3		2,400		7,200	
研修参加費		3		0		0	
合 計						15,660	

政 務 活 動 報 告 書

令和7年3月31日

茅ヶ崎市議会議長 岸 正明 様

絆・新政・新しい風 長谷川 由美

令和6年8月27日から令和7年1月27日までの間の13日間の所管に関する事務の調査をしました結果、次のとおり報告します。

- 1 講座名称 障害のある人と考える舞台芸術表現と鑑賞のための講座2024
企画実践編
- 2 参加議員 長谷川 由美
- 3 日 時 令和6年8月27日（火）から令和7年1月27日（月）まで
（13日間）
- 4 会 場 (1) オンライン講座（全4回）
(2) 特定非営利法人クリエイティブサポートレッツ
(3) DANCEBOX
(4) 兵庫県神戸市中央区文化センター
- 5 講座内容 別紙のとおり
- 6 備 考



障害のある人と考える舞台芸術表現と鑑賞のための講座2024 参加報告書

講座概要	
内 容	令和6年8月27日(火) 【オンライン講座】 「合理的配慮ってどんなもの？舞台芸術をひらくための考え方」 ・講師：飯野 由里子 氏（東京大学大学院 教育学研究科附属 バリアフリー教育開発研究センター 特任教授） ・進行：兵頭 茉衣 氏（株式会社precog） 令和6年9月24日(火) 【企画実践編 オリエンテーション】（オンライン） 令和6年10月8日(火) 【オンライン講座】 「芸術文化の価値とは？アートとケアの可能性を考える」 ・講 師：中村 美亜 氏（九州大学大学院 芸術工学研究院 教授） ・ゲスト：アサダワタル 氏（文化活動家） ・進 行：篠田 栞（株式会社precog） 令和6年10月22日(火) 【オンライン講座】 「芸術で何ができる？福祉施設の実践」 ・進行：長津 結一郎 氏（九州大学大学院 芸術工学研究院 准教授） ・登壇：久保田 翠 氏（認定NPO法人 クリエイティブサポ ートレッツ 理事長） 樋口 龍二 氏（NPO法人まる代表理事） 山口 光 氏（認定特定非営利活動法人ポパイ事務局・ パフォーミングアーツ担当） 令和6年10月30日(水) 【ユーザーヒアリング】（オンライン） ・プロトタイプ研修

令和6年11月1日(金)

【視察研修】

「クリエイティブサポートレッツ視察」

- ・会場：特定非営利法人 クリエイティブサポートレッツ（静岡県浜松市中央区連尺町314-30）

令和6年11月5日(火)

【オンライン研修】

「劇場に来てもらうには？地域とつながる実践」

- ・進行：兵頭 茉衣 氏（株式会社precog）
- ・登壇：恵志 美奈子 氏（世田谷パブリックシアター劇場部学芸チーフ）
吉川 剛史 氏（穂の国とよはし芸術劇場PLAT 事業政策部）
田澤 瑞稀 氏（まるっとみんなで映画館 inKARUIZAWA事務局）

令和6年11月16日(土)から17日(日)

【視察研修】

「DANCEBOXと新長田の街歩きツアー」

- ・会場：アートシアター dB KOBÉ（神戸市長田区久保町6-1-1 アスタくにづか4番館4階）

令和6年12月11日(水)

【ユーザーヒアリング】（オンライン）

- ・講師：半田 将仁 氏（可児市文化創造センターala）

令和6年12月16日(水)

【グループヒアリング】（オンライン）

- ・講師：廣川 麻子 氏（先天性ろう者、NPO法人シアター・アクセシビリティ・ネットワーク 理事長）
山崎 有紀子 氏（観賞サポートアドバイザー、きこえない舞台ファン）

令和6年12月23日(月)

【中間発表】（オンライン）

	令和7年1月14日(火) 【企画実践編 プレゼンテーション準備】（オンライン） ・発表方法共有 など 令和7年1月27日(月) 【企画発表会】 ・会場：神戸市立中央区文化センター多目的室（兵庫県神戸市中央区東町115） ・企画監修：長津 結一郎 氏 文（AYA） NPO法人DANCE BOX ・ゲストフィードバック：岡部 太郎 氏（一般財団法人たんぼぼの家） 塚原 悠也 氏（アーティスト）
考 察	令和6年8月27日(火) 【オンライン講座】 「合理的配慮ってどんなもの？舞台芸術をひらくための考え方」 基礎知識として、障害者の権利に関する世界と日本の動き。また2024年から義務化された合理的配慮についての理解を深めることが重点的に取り上げられた。 「合理的配慮」は、思いやりや気遣いとは無関係で、双方（障害のある人等と、舞台芸術の場合は、公演などの運営側）が、建物などの物理的事情、予算的事情等を考慮に入れた上で「理にかなっている」配慮を行うことである。これは、具体的な変更や調整を指すものであって観念的なことではない。 具体的調整や変更とは、例えば、物質的バリアを取り除く。アクセシビリティを上げる（字幕の活用、手話通訳者の配置など）ことなどがある。 障害者権利条約（日本は2014年に批准）では、一般原則（第3条）の中で、尊厳、無差別、インクルージョン、多様性の尊重、貴会の均等、アクセシビリティを挙げており、「障害者をかわいそうな人、劣るもの」として捉えてきた歴史的経緯から、障害者観の変換が必要であるとしている。障害を人間の多様性の一部として捉えることが重要である。

障害者基本法では、第 30 条「文化的生活、レクリエーション、余暇及びスポーツへの参加」として

1. 障害者が他の者との平等を基礎として文化的な生活に参加する権利
2. 自己の利益のための意でなく、社会を豊かにするために、自己の創造的、芸術的及び知的な潜在能力を開発し活用する機会

をあげており、これらが実現されることによって、舞台芸術はどう変わるか、あるいは舞台芸術がこれらを取り入れ、実現するフィールドになりうるかどうかという点が重要である。

次に、国際社会での観念の転換、法的な整備の上で、目指すべき姿を考える時、地域社会においての取り組みや変化がなければ、劇場や舞台芸術に関わる人だけで、上記を実現することができない現実がある。

まとめとして、今回の講座においては、障害がある人との対話、ヒアリング、または受講者であり、障害がある当事者である人とのディスカッションの中で、共にアイデアを出し、また舞台芸術に携わる現状、経験から、合理的配慮のポイントである「双方の事情」を調整した企画につなげることを模索していくことが重要であると締めくくられた。その後、運営を担っている株式会社 precog が、障害がある人を出演者として、または鑑賞者として舞台制作を行う際に実行しているサポートも例に出しながら解説された。これにより基礎的なスタンスの共有がはかられた。

令和 6 年 9 月 24 日(火)

【企画実践編 オリエンテーション】（オンライン）

企画実践編を受講する 18 名、及びスタッフの顔合わせと概要説明が行われた。受講者のグループ分けが発表され、4 グループとなった。事前に提出したプロフィールをもとに「A：文化芸術関係団体の従事者」、「B：福祉事業従事者」、「C：アーティスト・舞台関係者」、「D：障害当事者」、「F：その他」といった属性を持つ参加者が、それぞれのグループに配置される構成となった。

長谷川は5名のDグループに所属となったが、そのメンバーは、次のとおり多彩であった。

①劇場・ホール職員制作担当者、②福祉職員兼アートサポートセンター（都道府県単位で設置）コーディネーター兼福祉施設職員、③福祉事業所の生活支援員兼即興演劇の教育現場、精神障害デイケア、高齢者施設で展開する役者、④吃音の当事者であり、演劇活動を行い大学院でマイノリティの当事者が表現活動を行うことについて研究している学生、⑤役者 など

居住地は、横浜市、山形市、神戸市、大阪市、茅ヶ崎市となった。

今回の講座はディスコード（アプリ）を使用し、オンライン配信からミーティング、連絡事項などを一元的に取り扱うことが説明され、期日前に各自利用環境を整えてエントリーすることとされた。

令和6年10月8日(火)

【オンライン講座】

「芸術文化の価値とは？アートとケアの可能性を考える」

芸術文化の持つ価値とは、「個人や社会にもたらす変化とその評価」に関わっており、近年では信頼やネットワークの構築、アイデンティティやプライド、ウェルビーイングに結びつく評価がなされている。

その実践例として、認知症ケアの実例が挙げられた。重度の認知症でコミュニケーションが難しい方でも、役者が演技などで観る人の想像力や、記憶力に触れていくと、認知症の方に普段は見られない反応があり、非言語のコミュニケーションが成立していることが紹介された。これにより、ケアするスタッフが認知症の方を知る機会となり。関係性が好転したとのこと。中村氏は、芸術文化が直接、課題解決に結びつくというよりは、社会に変化を起こすことができると話された。

アサダ氏からは、東日本大震災原発事故により避難をされた方々が暮らす、福島県いわき市の復興公営住宅での取り組みが紹介された。住民へのインタビューをもとに、その人のことを伝えるラジオ番組を作った。すると、そこから派生する生活の中の行事、習慣などが共感のキーとなって人同士も繋がりを持

つこととなった。個人を表現するという芸術文化の手法が、地域をつなぐ支援活動になったと話された。

芸術文化側から見ると、どのように表現するのか、その発表の場（例えば舞台）をどうするかに意識が集中してしまいがちであるが、それを作り上げる過程で、個々の人物等を掘り起こし、本人でも気づかない部分に触れ、開いていくことで、関係性が生まれ、外に向けて表現されることで変化につながっていく。このオンライン講座では、これらがケアと親和性が高く結びついていくものであることが整理できた。

令和6年10月22日(火)

【オンライン講座】

「芸術で何ができる？福祉施設の実践」

各施設での芸術文化を取り入れた活動が紹介された。共通しているのは、「その人がやりたい、望むこと」が基本に据えられていることだ。川柳「課題とは？おもしろいからやってるの一緒にやる人 大歓迎！」と紹介され、福祉とはそもそも幸せである状態のために行うものだと強調された。

障害者芸術が、一般的な時代になってきたところで、その発信に工夫をすることで価値観の変革を起こしていきたいとのお話もあった。

NPO法人まるは、厚生労働省の障害者芸術文化活動普及支援事業の福岡県及び九州の広域支援センターでもある。ここに寄せられる文化施設からの要望で多いものは、障害のある人と文化施設を巡るワークショップとのことである。視覚障害、聴覚障害、身体障害、知的障害、発達障害等、障害を持つ人とグループになって施設を巡り、バリアや困りごとを聞き、その解決のための方法や考え方を共有するものである。合理的配慮が義務化された中で、実際にどのように対応をするのか、当事者の感覚を知り、さらにそれが運営側のスタッフに伝わることで広がりが感じられる。

今回は、芸術文化関係者と福祉の行政、民間の関係者とが、それぞれの役割とそれによる特性を活かしながら、興味を持ち合える関係性をどのように作れるのかということについて、参加者からの質問、感想などが多く寄せられた。この結節点は重要で、福祉として十分に力を発揮することができる一方、経済

活動的には弱い障害者による芸術文化活動は、合理的配慮の義務化など転換点である今であるからこそ、民間、行政、関係団体の連携が求められていることがわかった。

令和6年10月30日(水)

【ユーザーヒアリング】（オンライン）

11月にグループごとに障害のある人（当事者）に、企画をつくるためのヒアリングを行うにあたっての事前研修として実施された。

- ・ヒアリング先：奈良県アートセンターHANAたんぽぽの家（生活介護事業、就労継続支援B型事業所）ダンス、演劇を含むアート・プログラムを展開している。身体に障害のある利用者4名、演出担当を含むスタッフ3名が参加。
- ・聞き手：株式会社precog
- ・内容：障害がある人と一緒に演劇作品を作るにあたり、活動をしている当事者の方から、演劇活動をする上での楽しいこと、困りごとをヒアリングした。

●今後のヒアリングにいかすべきポイント

障害がある人へのヒアリングにあたり、今回の場合は身体的な障害をお持ちの方々が対象であり、言語が不明瞭な場面があった。演出を担当しているスタッフが言葉を聞き取り、まとめながらやり取りが進んだ。相手の特性、状況、集中度合いについて注意しながら進めるべきことがよくわかった。

特性をよく理解し、信頼関係にあるスタッフのサポートは大きな助けとなる。

演劇を作るにあたり、楽しいことについて、「死んだふり」などの疑似体験が面白かった。本番は緊張するので稽古が面白かったとの意見が出た。逆に本番が楽しいとの意見もあり、共有できる感覚が存在することが実感できた。

「障害に関わることなどを、どこまで聴いて良いのかわからない。失礼にあたるのではないか」との心配から「聞かれて嫌なことはあるか？気をつけてほしいことは？」との質問が出

た。当事者からは「ない。それよりも会話の中で分かったフリをされるのが嫌。聞こえてないこと、わからないことは、聞き返してほしい」との答えがあった。よほど失礼な聞き方をしなければ問題ないとの回答だった。

「障害がある当事者に聞くべきなのか？障害がなく関わっている人に聞くべきなのか？」の質問については、「両方にきいた上で、一緒に考えるのが良い」との回答があった。

どこかにバイアスがかかり、特別扱いをすることよりもフラットに取り組むべきことがよく分かった。



令和6年11月1日(金)

【視察研修】

「クリエイティブサポートレッツ視察」

「障害や国籍、性差、年齢などあらゆる違いを乗り越えて、ともに生きることができる社会づくりを目指す」認定NPO法人クリエイティブサポートレッツが運営する「たけし文化センター連尺町」にて視察研修を行う。

10時～17時まで施設の活動と共に過ごした。ここは、生活介護・就労継続支援B型・日中一時支援を行う障害福祉サービス事業所であるが、周囲の様々な人たちに向け市民講座を開いたり、音楽スタジオ、図書館カフェともなっている。ビルの一部に重度知的障害者のシェアハウスを併設すると共に、一般の人が宿泊できるゲストハウスも設けられている。

また、1つの施設の中だけで過ごすのではなく、障害のある人もまちなかに出ること、交流を持つことが重視され、スタッフが付き添う形で思い思いの時間に散歩に出ることもある。同NPOが運営する地域活動支援センター「ちまた公民館」が徒歩5分程の場所にあり、双方で行き来をすることもできる。開設当初は、周辺へ丁寧な説明を行い、理解を求めてきたとのことで、周辺の人が訪問できるイベントなども意図的に展開し、障

害のある人がごく普通にまちの中に存在する姿を、周囲が受け止める環境になってきているとのことである。

また、各々が行う創作活動は「作品をつくる」「作品として発表する、販売する」ことを目的とするのではなく、それぞれの日常活動の中で出来上がったものとして扱っている。2階には防音室があり、種々のドラム、ギター、ピアノなど多様な楽器が無造作に配置されている。昼食後、ミュージシャンとしても活動をしているスタッフの一人が歌おうと呼びかけ、弾き語りを始めると、利用者たちがごく自然に集まった。聴いている人、マラカスを持つ人、声を出す人などさまざまな参加の姿があった。その後、メインになる人が変わりつつ、立ち寄りの近所の人が即興のピアノを始め、それに合わせて石を転がす音を立てる人などがライブ空間を作った。

そこには、自発的でクリエイティブな活動が確かに存在しており、また自然な共生の姿を感じられた。

利用者の帰宅後、スタッフの方々と振り返りの時間をいただいたが、「何かをする」ではなく、存在自体がまちの中に受け入れられることで、さらに障害のある人の存在価値を上げていく現場であったと感じた。



たけし文化センター1階
壁には作品も掛けられている



楽器を手に取り始まる演奏

令和6年11月5日(火)

【オンライン研修】

「劇場に来てもらうには？地域とつながる実践」

地域との繋がり方、予算やリソースが限られる中で、どのように劇場の活動を地域の中に広げていくかなどの実践例が報告された。制作運営会社 p r e c o g が 2021 年より手がけている映画祭は、シニア、子ども、障害のある人、国籍、言語が違う人が集うものとしてワークショップを行い、地域の団体とも連携して作られている。

瑞の国とよはし芸術劇場 P L A T では、学校等での事業に向けた「ワークショップ ファシリテーター養成講座」を開講し、ワークショップの進行ができる人を作ると同時にまち歩きや、気になる人をテーマに台本を作り演劇にする事業を展開している。「公共の文化施設や劇場ホールは地域に暮らす人 人の文化権を守る砦」であるという言葉が印象に残る。そのためには、誰一人取り残さない運営を行い、そのことで「知らない人」「普段は合わない人と出会う」場としていくことを目指すべきと話された。

世田谷パブリックシアターでは、学芸事業として、一般の人と演劇をつくる事業を展開している。ひとりひとりのストーリーなどをもとにアイデアを出してつくりあげていくことで、都会では希薄になった関係性が構築されていく実例とされた。

今回紹介された事業は、すべて地域の中での活動である。初めはつながりが難しいが、「何をしたい」のかを明確にし、そこに賛同する人、共にやろうとする人が参加してくる形が望ましい。そして公共の文化施設が、文化権の砦であることの所以に全ての人に開かれた表現の場であることが重要で、その糸口を発信することが必要であることがわかった。

令和6年11月16日(土)から17日(日)

【視察研修】

「DANCEBOXと新長田の街歩きツアー」

神戸市長田区に拠点を置く、NPO法人DANCE BOX は、プロジェクト「こんにちは、共生社会(ルビ:ぐちゃぐちゃのゴチャゴチャ)」と題して活動を展開している。これは、「障がいの有無、経済環境や家庭環境、国籍、性別など、一人一人の差異を優劣という物差しではなく独自性ととらえ、幾重にも循環していく関係性を生み出すことを目的としており、舞台芸術を軸に、誰もが豊かに暮らし、芸術文化を楽しみ、表現

に向かい合うことのできる社会をめざす、多角的な芸術文化創造活動が続けている」※ホームページより出典

こうした地域の中での活動において、考え方を共有、協力関係にある団体をDANCE BOXの紹介、案内で視察、ヒアリングを行った。

視察先は次のとおり。

①NPO法人DANCE BOX

- ・こんにちは、共生社会 ぐちゃぐちゃのごちゃごちゃ立ち上げ経緯
- ・新長田のまちのすみ開きの活動

②福祉事業型「専攻科」エコールKOBÉ

- ・特別支援学校を卒業した方等が、社会に出るために力を身につける場として運営。自立訓練（生活訓練）事業所

③空地文庫

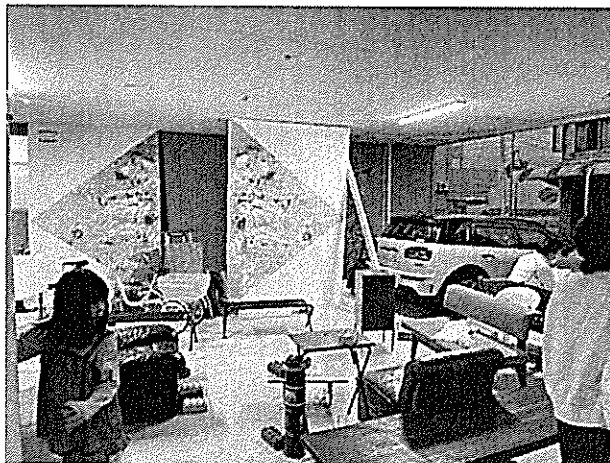
- ・DANCE BOXにダンス留学生として当地に来たダンサーが、留学終了後もまちの中で活動をしつつ運営をする本屋

④長田教坊（ながたきよばん）

- ・朝鮮半島の伝統芸能が学べる場として開設され、ボイストレーニングやピラティスクラスも展開している

⑤はっぴーの家ろっけん

- ・多世代型介護付きシェアハウス。近所の小学生も含め、1週間に200人あまりの人が出入りすると言われるシェアハウスで、高齢の方から、国籍、性別を問わず集い暮らす場として運営されている。



※駐車場の周辺は、誰でもが集うことができる空間になっている。この日も小学生が遊びに来ていた。

⑥高齢者施設リハビリモンスター

- ・予防特化型のデイサービス

⑦プラスト新長田

- ・理学療法士が常駐するデイサービス

新長田地区は、阪神淡路大震災で壊滅的な被害を受けた地域と、被害を免れた地域が隣接している。NPO法人DANCE BOXは、再開発ビルの中の劇場で、モダンダンスカンパニーとして、ダンスパフォーマーの育成、国際的活動を行う。その一方で、地域の中であらゆる意味での「共生」を模索し、地域に開き、つながる活動をしていた。これらの活動は、舞台芸術に関わる手法を用いて、例えば舞台を利用した「家族対抗歌合戦」を開催し、コミュニティ作りに繋げる。上記施設などを訪問し、パフォーマンスを行うことで「顔の見える」関係性を構築するなど。これは、震災後の新たなコミュニティ構築、復興にもつながっていた。さらに多国籍の人が住まう地域でもあり、習慣、言語を超え相互理解の上で交流を持つなど大変興味深い活動である。また、再開発ビルでの商業的活動が順調とは言えない状態で、空き店舗が目立つ。現在そこに福祉関係の事業所等が次々と入り、地域の課題解決に向けた活動がなされていた。

『DON DON DANCE BOX. 2024』事業報告会

文化庁委託事業「令和6年度障害者による文化芸術活動推進事業」の報告会を視察

DANCE BOXでは、身体的障害のある人たちによるダンスカンパニーが生まれており、日本、また海外公演も行うなど活発な活動がある。聴覚障害者による舞台、多言語字幕付きの舞台などの事業が行われている。



令和6年12月11日(水)

【ユーザーヒアリング】（オンライン）

可児市文化創造センター a l a は、文化芸術の社会包摂生を掲げ、市民巻き込み型の運営で注目されてきた公共施設である。受講者から a l a へのヒアリング希望は出たため、障害がある当事者、団体ではないが、地域の中でどのように障害がある人との舞台芸術活動をつなぎ、進めてきたかについて、番外編としてヒアリングを行うこととなった。

「事業を企画しても障害がある人の参加に結びつかないことが多い。どのように工夫をしているのか？」の問いに対して、「ディスコパーティー」をモチーフに、障害のあるなしに関わらず参加できる企画を進め、当初は地域の関係団体を回り、声かけを繰り返し、気軽に声を掛け合える関係性を構築した。そして回数を重ね、工夫と改善をしてきたことはもちろんであるが、障害のある参加者の中から、スタッフのように事業を後押しするキーパーソンが育ったことが大きいとのことであった。また、地域の奉仕団体等にも参加を促したことがきっかけで、障害のある人もない人も。新たな出会いの場となるという感覚を持ってもらえるようになった。現在は、障害のある人の参加割合が多くなっており、悪いことではないが、障害のない人の参加者増加に取り組んでいる。

令和6年12月16日(水)

【グループヒアリング】（オンライン）

所属するDグループでは、「あらゆる人」が参加できる盆踊りを企画として取り組むこととなった。この企画は、2つの大きな要素からなる。①地域を知るフィールドワークと3回程度のクリエイションで、障害がある人も「できる形」で踊ることができる盆踊りをつくる。②地域で障害のある、なしに関わらず共に楽しむ機会として、また①の発表、共有をする場の盆踊り大会を開催する。そこにはスタッフの募集と、研修も含まれる。

「あらゆる人」=様々な障害を含むため、ヒアリング先の選定が難航したが、事務局からの紹介で、聴覚に障害があり、舞台芸術を鑑賞することについて発信を行なっている山崎氏と、舞台芸術の鑑賞サポートについて、当事者の立場から活動して

いる団体の廣川氏となった。聴覚障害に関わる団体等へのヒアリングは、他のグループにもなく、またDグループには障害者施設に従事されている人もいたため、その利用者には該当者がいない聴覚障害の方が対象となった。

そもそも盆踊りに行くかいかないか？という問いに対して、「楽しそうであればいく」「子供の頃はいていたが、その後、自分では理解できない部分（聞こえないため状況がわからない。歌詞や音楽がわからない）ため行かなくなった」などの回答があった。まず障害があっても参加していいのか＝歓迎されているのがわかりやすいと良いという意見や、次の意見が出された。

視覚的にわかりやすいインフォメーション＝ピクトグラムの使用や、スタッフが誰で尋ねて良い相手かわかるためのゼッケン型表示。プログラム、会場図の貼り出しがあることで安心できる。

音楽を楽しむためには、リズムを刻む大きなパフォーマンス＝やぐら太鼓のような身振り手振りが大きいものは、聞こえなくてもわかりやすい。また歌詞や、折々の司会者の話には、手話通訳、字幕表示があると良い。何よりも、その場において良いという雰囲気づくりが大切。

これらを元に、Dグループでは、視覚的にわかりやすい告知チラシ、ピクトグラム等の利用を検討することとなった。また、サポートスタッフの研修を行う上では、このような要望を共有すること。手話通訳には、手話を勉強している人の実践の場とすること等を通して、サポートの向上と、企画の磨き上げとする方向性が見出せた。その上で、基本企画を作り、まちの状況が違う各地でも展開できるものとする事とした。

令和6年12月23日(月)

【中間発表】（オンライン）

各グループで検討をしてきた「企画」の発表を1ヶ月後に控え、進捗状況の発表を行なった。持ち時間は10分、意見交換が15分とタイトだった。

「どういう状況を生み出したいか」「参加する人」「開催する地域とその理由」「事業の概要」について触れる。まだ決ま

っていない部分は、無理に決めるのではなく、「こういう部分で悩んでいる」という状況を共有した。

この時点でDグループは、「あらゆる障害を持つ人、持たない人が立ち寄り、楽しむことができる盆踊り＝みんなでつくる盆踊り」を各メンバーの居住地ごとの特性を踏まえて、企画をし、共通の基礎企画と、各地に合わせたアレンジをつけることで、全国で開催することができる基礎形を模索していた

[企画監修 長津結一郎氏及びA Y A氏からの指摘事項]

- ①あらゆる障害とした場合、さまざまな特性がある。どのように対応ができるのか？それが現実的に可能であるか？
- ②地域を特定した方が、より具体的な企画となる可能性がある

この時点で、5人中3人メンバーからは、基礎企画に対して各地域の中で協力、協賛、補助金などを得ることができそうな相手先を挙げるなどしていたが、開催地を選んで、より具体的に検討を行うことになった。また、あえて「あらゆる障害」のある人を受け入れ、尚且つ全ての人が楽しむことのできる場を検討するために、各メンバーが親交のある障がいのある当事者から、どんな盆踊りなら行きたいと思うかといった、ヒアリングを行うこととした。

令和7年1月14日(火)

【企画実践編 プレゼンテーション準備】(オンライン)

企画発表のプレゼンテーションは、「事業説明会／記者発表」を想定することとされた。

実施する地域の関係者や地域住民、メディア、助成団体や協賛団体などを招いて、どういう事業を行う予定かを説明する会として考える。プロジェクトのことを知ってもらい、運営に協力や、情報拡散などの協力してもらうことを想定し、プレゼンテーションをするという方向性が示された。この時点で、Dグループでは視覚的なスライドだけではなく、広い会場の一部分を使って盆踊り会場を作ることを提案し、可能となった。

令和7年1月27日(月)

【企画発表会】

受講生 18 名が 4 グループに別れ、受講、視察も踏まえて作成した企画案の発表会。持ち時間は 1 チーム 15 分。この企画を実践するための協力、協賛者を募るイメージでプレゼンが行われた。各グループの企画概要は次のとおり。

[Aグループ]

「医療的ケア児と療育者のためのアートプロジェクト」

支援の手が届きにくい医療的ケア児についての認識を広め、サポートしていく体制を作ること、病院、学校以外に過ごすことができるサードプレイスをつくることを目指す。当事者、当事者家族等の記憶などをテキスト化し、パフォーマンスとすることや、サポートをするボランティア育成を行う。はじめにメンバー在住の地域で実証実験を行い、広げていくプロセス想定などが発表された。

[Bグループ]

「障害者雇用×就労支援継続事業所×アーティスト研修」

障害がなくても、誰でもが病気、怪我なども含め障害のある状態になる可能性があることから、グレーゾーンにある人についても対象とし、障害者雇用をより有益なものとするために企業側に理解してもらい相互理解を深めることを目指す。アーティストが一定期間、大企業に入り、障害者雇用の現場で仕事をする。その後、その体験を公表することで、違った視点からの感覚を探ろうとするもの。メンバーが在住の千葉県市川市を想定し、フィールドワークを行うなどして、工場のある企業を研修先に仮定して、雇用の課題、地域課題から掘り下げて発表された。

[Cグループ]

「当事者や話すことに違和感がある 中高生・大学生とつくる演劇『話他知（わたし）』」

話し言葉がスムーズに出てこない発話障害、吃音の当事者がメンバーにいたことから、吃音の当事者への聞き取りを行なうワークショップと、その体験を演劇にする企画となった。大阪府堺市を想定しており、吃音の当事者が実際に困った体験などからメンバーが対話を重ね、「言葉による表現を諦めない」

「言葉だけに縛られない演劇の手法を用いる」ことなどによる企画が作られていた。

[Dグループ]

「みんなでつくるシン・盆踊り」

障害のある人もない人も、グレーゾーンの人も、ふらっと立ち寄ることもでき、いつもは一緒にいることのない人たちと場を共有できる。その中でコミュニティが生まれていくことを目指した「盆踊り」企画。クリエイションとして、地域性を取り入れた「盆踊り」をつくるワークショップも行う。

誰もが親しみやすい昔からある行事を、当事者へのヒアリングを丁寧に行うことで参加しやすい場をつくることを目指した。最終的には、茅ヶ崎市うみかぜテラスが会場と想定された。これは複合施設であること、物質的にバリアフリーであること、駐車場隣接などの条件と、土地柄を取り入れるフィールドワークのために、海岸に近いことから設定された。盆踊りの資源（機材、祭囃子などのソフト資源）は、地域の自治会等が持っている場合が多いので、協力いただける体制をつくること、施設とのコラボも想定した企画となった。

さまざまな障害のある人へのヒアリングから組み立てた仕様は次のとおり。

- ・座ったまま踊れるレーンを中央に近い位置につくる

輪の中で参加できることで一体感が生まれる。ほか、車椅子、ベビーカーで踊れるレーン

- ・音楽、リズムを体験することができるようヤグラを低くし、スロープで登れるようにする。合わせて、クリエイションの新しい盆踊りの発表にも使う

パフォーマンスからリズムをとることができる

- ・クールダウンすることのできる静かなスペースを建物の中に設定する

音が鳴り続けている場にいるのが辛いかもしれない

- ・暑さ対策

障害者施設から出かけることを可能とするため、開催時期は5～6月頃の土曜日、15時～20時頃を想定する

最終的にDグループでは、メンバーが手分けをして知り合いなど、話ができる関係にある障害のある人、障害のある人と文化芸術活動をしている人、障害のない人を含め、20名近い人からのヒアリングを行った。これにより、できる限りのサポートプラン、対応を企画に盛り込むこととなった。



※スロープで上がることのできるやぐらや、車椅子・ベビーカーでも踊れるレーンなどを体感していただくため立体展示した。



※企画発表プレゼンの様子。聴覚障害のある方から提案された「目でわかる案内版」を首からかけている

[総括]

各グループの発表の後、企画監修者、ゲストフィードバックからの質疑が行われた。指摘の中で多かった点は、資金の捻出と継続性についてだった。それぞれの企画は、補助金や協賛などを想定しているが、どのように自立をさせていくのが難しいと指摘された。

また、今回の受講を通じて、障害のある人とつくる舞台がパフォーマンスをつくる側の企画、お客様として対応する場合のサポートなど、それぞれの面での準備が必要なことも明らかに

なった。そして、企画と熱意をどのように広げ、理解を得るか。動きやすい関係性を作っていくことが活動の継続、充実につながることを視察研修を通じて理解できた。

[考察・今後の展開]

この講座では、障害の当事者をはじめ、様々な立場から文化芸術の障害のある人との活動に携わろうとする人たちと共に、受講することができ、違う視点、問題点の定義から多くの刺激を受けた。また、意識の底に潜んでいるようなバイアスの発見、常に自分の中にあるバイアスを意識すべきことも実感した。

茅ヶ崎市では、福祉関係の民間事業者による障害のある人の舞台芸術活動は盛んで、ユニバーサル音楽祭等が挙げられる。また、ともに生きる社会 かながわ憲章の流れから、養護学校の生徒、関係者によるステージパフォーマンスも積極的に行われているのを目にする。

公共施設では、茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団が、茅ヶ崎市民文化会館を運営することから、物質的なバリアフリーはもちろん、神奈川県障がい者芸術文化活動支援センターの講座なども利用しているとのことである。特に茅ヶ崎市美術館では、数年前から障害のある人や、子どもと共につくる企画展などを展開しており、取り組みが進んでいることが評価されている。

このように行政から一歩離れた部分で、障害者の文化芸術への参加が進められているが、一方、行政の中の福祉分野では、動きが弱いように受け取れる。これは茅ヶ崎市に限ったことではないと考えられ、今回の講座の参加者の属性にも現れている。障害の当事者、公共団体の職員、アーティストの参加はあったが、行政職の参加はなかった。日程的問題もあると考えられるが、行政の中では取り組みは浅いのだろう。

障害者の芸術文化活動に、行政の福祉、生涯学習、社会教育の分野が、直接関わるかどうかは別としても、障害者の芸術文化活動がもたらすことができる共生への考え方やその変化、定着。サポートのあり方、相互理解、関係性の構築は、障害のあるなしに関わらず、地域社会の中で見逃すことのできない有益な要素であると考ええる。これは多様な人々という捉え方をすれば、高齢者、子ども、国籍、言語の違う人も含まれ、コミュニ

ティの構築をはじめ、行政サービスの向上、政策を考える上でも応用でき、現代的課題の解決にも通じるものである。

厚生労働省と文部科学省は、令和5年、「障害者による文化芸術活動の推進に関する基本的な計画」（第二期）において、目指すべき姿の目標3とし、「地域における障害者による文化芸術活動の推進体制の構築」をあげ、「地方行政の中に障害者の文化芸術活動の推進を明確に位置付けて地域社会から障害者の文化芸術活動を捉え直し、文化や福祉等の分野を越えて横断的に取り組むことが重要となる」としている。

舞台芸術の側から見た時、国がこのような方針を打ち出していることは、新たな可能性をもつフロンティアが、障害のある人とともにつくるというフィールドに広がっていることにもなる。まだまだ開拓をする領域にあり、舞台芸術団体が単独ではリソースも予算も追いつかないが、政策として推進されれば、研究実践のチャンスもある。芸術文化は、そもそも創造の場であるだけに、障害のある人＝特性のある人と特性を生かした活動、共生には親和性が高く、民間の側から、様々な活動が進んでいるとも言える。

茅ヶ崎市は、創造都市宣言を発表し、文化芸術のもつ力をまちづくりに生かすこととしている。今後、利活用が進められていく南湖院第一病舎では、アーティストインレジデンスの構想もあるが、障害のある人の文化芸術への参画を積極的に取り入れることも可能ではないだろうか。実現すれば、現代的課題解決への取り組みとしても、より開かれた、厚みのある活動が期待できる。

今回、講座のDチームによる企画検討では、茅ヶ崎が具体的会場となった、その際、山形在住のメンバーからは、障害のある人を未だ外に出したまらない地域性が山形にある。このため実践の場は、適度に都市化したまちの方が良い。人が外に出やすいとの指摘があったことも茅ヶ崎に決まった理由の1つである。茅ヶ崎は、東京からも近く優位な面がある。これらを考え合わせるとき、やはり行政の中で横断的な取り組みを行い、民間事業者、行政、市民が障害のある人と舞台芸術を、まちの活動に組み入れていくことは、個性あるまちづくりに繋がり、明治期以降、文化、芸能がまちの発展を牽引してきた茅ヶ崎の土壌に、新たな展開が期待できると考える。

[補足]

- ・今回のオンライン講座は、音声文字化システムUDトークとの連動、手話通訳がつけられており適宜利用できる形で、情報保障が確立されていた。
- ・全国各地からの参加者のため、すべての連絡、ミーティング等は、アプリ「ディスコード」を使用して行われ、タブレットの使用とICT活用の良い機会となった。

プログラムの流れ

企画実践編

入門編講座

2024年

オンライン講座 8/27 18:30~21:30

合理的配慮ってどんなもの？
舞台芸術をひらくための考え方

18 飯野由里子 東京大学大学院 教育学専攻 教授
JAFPA 代表理事 障害者芸術文化センター 代表理事

アーカイブ視聴



オンライン説明会 8/13 20:30~21:00

9月

9/8 24:00 申し込み締切

オリエンテーション 9/25 18:30~21:30

上級会 9/27 神戸文化ホール(交通プログラム)
旅する身体 ~ダンスカンパニー MI-MI-81~
障害と創作について考えるきっかけとなる
ドキュメンタリー映画鑑賞と交差プログラム

キックオフ

神戸で行われる上映会に参加します。
上映会前に対面によるキャッチアップミーティングを実施。

10月

オンライン講座 10/8 18:30~21:30 (8/27アーカイブ視聴可)

芸術文化の価値とは？
アートとケアの可能性を考える

19 中村美亜 大阪大学大学院 芸術学専攻 教授
20 アサダワタル 文化活動家

オンライン講座 10/22 18:30~21:30 (8/27アーカイブ視聴可)

芸術で何が出来る？福祉施設の実践

21 久保田翠 認定NPO法人クリエイティブサポーターシップ 理事
22 山口光 認定NPO法人クリエイティブサポーターシップ 代表理事
23 長津結一郎 大阪大学大学院 工学部 教授

11月

オンライン講座 11/5 18:30~21:30 (8/27アーカイブ視聴可)

劇場に来てもらうには？
地域とつながる実践

24 恵美美奈子 株式会社ワタナベ・劇場 学芸員
25 吉川剛史 劇場と地域連携推進員
26 田澤瑞季 株式会社ワタナベ・劇場 学芸員

12月

27 工藤まな(福岡)

28 菜穂佳里 (福岡) 劇場 事務員

1月

企画発表会 1/27 中央文化センター(神戸)
全チームが一躍に会し、プレゼンテーションを実施。
企画監修者だけでなく、ゲストからもフィードバックをもらいます。

詳細・プログラムの最新情報は
公式サイトをCHECK
お問合せ (事務局)
driftclubke@gmail.com

文化庁委託事業(令和6年度障害者等による文化芸術活動推進事業)
主催 | 文化庁、一般社団法人DRIFTERS INTERNATIONAL
共催 | 神戸文化ホール(運営管理:公益財団法人神戸市立文化財団)
企画 | 一般社団法人DRIFTERS INTERNATIONAL
制作 | 株式会社precoo
上映 | THEATRE for ALL
協力 | TBS

文化庁委託事業 令和6年度障害者等による文化芸術活動推進事業

障害のある人と考える 舞台芸術表現と鑑賞のための講座2024

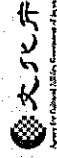
「ダイバーシティ」や「インクルージョン」が「合理的配慮」などの言葉が溢れる時代、
その言葉の先にあることを想像し、対話をしながら、
今どのような事業を立案できるのかを考えてみませんか？

入門編

本講座は劇場、文化施設のスタッフ、制作者やアーティストなど、
障害の有無に関わらず舞台芸術に携わる
全てのひとたちと共に学び、舞台芸術の拡げ方を考える講座です。

企画実践編

障害のあるひととの創作現場で大切な視点を学ぶ入門編と、
芸術と福祉を通じた地域社会のあり方について学び企画制作する企画実践編の2部門で受講生を募集します。
これからの未来へつづき舞台芸術の現場を共にひらいていくきっかけとなれば幸いです。
みなさまのご応募をお待ちしています。



文化庁委託事業 令和6年度障害者等による文化芸術活動推進事業
障害のある人と考える舞台芸術表現と鑑賞のための講座2024

主催：文化庁、一般社団法人DRIFTERS INTERNATIONAL
共催：神戸文化ホール(指定管理者:公益財団法人 神戸市民文化振興財団)
企画：一般社団法人DRIFTERS INTERNATIONAL
制作運営：株式会社precog
広報：THEATRE for ALL

ディレクター：中村茜
プロデューサー：黄木多美子、兵藤菜衣
プロジェクトマネージャー：星茉莉、栗田結夏
広報アシスタント：土屋梨沙、松本綾香
プロジェクトデスク：齊藤実雪

宣伝美術：LABORATORIES
記録写真：鈴木優、阪下澁成、長末香織

【入門編・オンライン講座】

プロジェクトマネージャー：田澤瑞季、林芽生
プロジェクトアシスタント：西多恵子、箕浦萌
手話通訳：瀬戸口裕子、伊藤妙子
アーカイブ映像編集：内田圭
アーカイブ字幕協力：石川佳音

【入門編・上映会】

上映作品：『旅する身体～ダンスカンパニー Mi-Mi-Bi～』
(2022年/67分)
出演：ダンスカンパニー Mi-Mi-Bi (内田結花、KAZUKI、武内
美津子、福角幸子、福角寛弘、三田宏美、森田かずよ)
監督：渡辺匠、志子田勇
製作：TBS

ショートパフォーマンス

出演：内田結花、KAZUKI、福角幸子、三田宏美、も、森
田かずよ、米原幸
音楽：嶺川貴子、日野浩志郎
衣装：福岡まな実
協働メンバー：中村風太
スタッフ：文、眞鍋隼介、新家綾、池本由樹葉(以上、NPO法
人DANCE BOX)
映像：嶋田孝好
手話通訳：久保沢香葉、中村わかな
協力：TBS

【企画実践編】

受講者企画監修：長津結一郎(九州大学)、文(NPO法人DANCE
BOX)
企画発表会フィードバック：岡部太郎(一般財団法人たんぼぼ
の家)、塚原悠也(contact Gonzo)

視察研修企画協力：特定非営利法人クリエイティブサポー
トレッツ、NPO法人DANCE BOX、NPO法人まる
視察協力(神戸)：廣田恭祐(株式会社PLAST)、岡本正(ユニ
バーサル社会づくり研究所)、小松菜々子(空地文庫)、バク ウォ
ン・趙恵美(スタジオ・長田教坊)、首藤義敬(株式会社Happy)
視察ゲスト(福岡)：添嶋麻里((公財)アクロス福岡 事業部 ディレ
クター)

ユーザーヒアリング協力：たんぼぼの家のみなさん(大西照彦、
山口広子、本田律子、河野望、佐藤拓道、大井卓也、中島香織)、放課後
等デイサービスこびあクラブ第3こびあクラブ(枝川)のみな
さん(丸目香耶、石川由加)、NPO法人リベルテのみなさん、勝
瀬ほのか(学生劇団「いと」～Italento～)、廣川麻子(NPO法人シ
アター・アクセシビリティ・ネットワーク)、山崎有紀子、福本さくら
ヒアリング協力：半田将仁(可見市文化創造センター ala)

【報告書】 編集・執筆：篠田葉 校正：箕浦萌 デザイン：内田圭

出張旅費計算書

摘 要	障害のある人と考える舞台芸術表現と鑑賞のための講座2024 企画実践編 静岡県浜松市			会派	絆・新政・新しい風		
期 日	令和6年11月1日（金） 【1日間】			出張者	長谷川 由美		
経 路		日数	泊数	キロ数	運賃（円）	急行料金（円）	金額（円）
茅ヶ崎 — 小田原 （JR東海道本線）		1	0	25.3	3,410	—	6,670
小田原 — 浜 松 （JR東海道新幹線）				173.2		3,260	
浜 松 — 小田原 （JR東海道新幹線）				173.2	3,410	3,260	6,670
小田原 — 茅ヶ崎 （JR東海道本線）				25.3		—	
計		1	0	397.0	6,820	6,520	13,340
	日 数		単 価（円）		人 数	金 額（円）	
日 当	1		2,400		1	2,400	
研修参加費	1		15,000		1	15,000	
合 計						30,740	

領収書 - 『障害のある人と考える舞台芸術表現と鑑賞のための講座 2024』 企画実践編：本申し込み

発行日	2024年9月16日		
宛名	絆・新政・新しい風		
合計	小計 (10%対象)	¥13,636	
	消費税 (10%)	¥1,364	
	合計	¥15,000	
但し	講座受講料として		
申込日	2024年9月16日		
注文番号	27214183		
イベント名	『障害のある人と考える舞台芸術表現と鑑賞のための講座 2024』 企画実践編：本申し込み		
開催日	2024年9月8日 - 2024年9月24日		
主催者	株式会社precog		
	〒162-0801		
	東京都 新宿区山吹町 358		
	小磯大竹ビル202		
	登録番号: T6011001061132		



出張旅費計算書

摘 要	障害のある人と考える舞台芸術表現と鑑賞のための講座2024 企画実践編 兵庫県神戸市			会派	絆・新政・新しい風		
期 日	令和6年11月16日(土)から17日(日) 【2日間】			出張者	長谷川 由美		
経 路		日数	泊数	キロ数	運賃 (円)	急行料金 (円)	金額 (円)
茅ヶ崎 ― 小田原 (JR東海道本線)		1	1	25.3	8,580	―	14,980
小田原 ― 名古屋 (JR東海道新幹線)				282.1		6,120	
名古屋 ― 新神戸 (JR東海道新幹線)				223.5			
新神戸 ― 新長田 (神戸市営西神・山手線)				7.6	280	―	
新長田 ― 新神戸 (神戸市営西神・山手線)		1		7.6	280	―	14,980
新神戸 ― 名古屋 (JR東海道新幹線)				223.5	8,580	6,120	
名古屋 ― 小田原 (JR東海道新幹線)				282.1			
小田原 ― 茅ヶ崎 (JR東海道本線)				25.3			
計		2	1	1,077.0	17,720	12,240	29,960
	日 数		単 価 (円)		人 数	金 額 (円)	
日 当	2		2,400		1	4,800	
宿泊費	1		12,000		1	12,000	
夕食代	1		2,000		1	2,000	
合 計						48,760	

宿泊先： ホテル・カサベラINN神戸

(兵庫県神戸市兵庫区西上橋通1丁目4-27)

1泊朝食付 15,645円(宿泊費上限の14,000円まで適用)

NO. 55585

ご利用明細書



お名前(Name)

絆・新政・新しい風

様

お支払い方法
Payment Method

お部屋番号 Room No.	御到着日 Arrival	泊数 Nights	御出発日 Departure	人数 Persons	発行日 Issue	担当 Clerk	頁 Page
711	2024/11/16	1	2024/11/17	1	2024/11/16		1

日付 Date	お部屋番号 Room No.	ご利用明細 Description	単価 Unit Price	数量 Qty	金額 Charges	入金 Payment
11/16	711	ご宿泊代	15,645	1	15,645	0
11/16	711	現金	15,645		0	15,645

※軽減税率(8%)対象商品

消費税内訳 10%対象
8%対象

¥15,645-(内税 ¥1,422-)
¥0-(内税 ¥0-)

ご署名 Signature	ご利用合計 Charges	ご請求額 Balance
会社名 Firm	15,645	0

領収書

NO. 55585

お名前(Name)

絆・新政・新しい風

様

消費税額(10%): ¥1,422-
消費税額(8%): ¥0-

登録番号: T6140001117237

¥ 15,645-

〒652-0033

兵庫県神戸市兵庫区西上栂通1丁目4-27

ホテル・カサベラINN神戸

☎ 078-578-0001

発行日
Issue

2024/11/16

出張旅費計算書

摘 要	障害のある人と考える舞台芸術表現と鑑賞のための講座2024 企画実践編 兵庫県神戸市			会派	絆・新政・新しい風		
期 日	令和7年1月27日(月) 【1日間】			出張者	長谷川 由美		
経 路		日数	泊数	キロ数	運賃 (円)	急行料金 (円)	金額 (円)
茅ヶ崎 — 小田原 (JR東海道本線)		1	0	25.3	0	—	0
小田原 — 新神戸 (JR東海道新幹線)				505.6		0	
新神戸 — 三 宮 (神戸市営西神・山手線)				1.3	0	—	
三 宮 — 新神戸 (神戸市営西神・山手線)				1.3	0	—	0
新神戸 — 名古屋 (JR東海道新幹線)				223.5	0	0	
名古屋 — 小田原 (JR東海道新幹線)				282.1			
小田原 — 茅ヶ崎 (JR東海道本線)				25.3			
計		2	0	1,064.4	0	0	0
		日 数	単 価 (円)		人 数	金 額 (円)	
日 当		1	2,400		1	2,400	
合 計						2,400	

※主催の交通費補助利用のため、交通費の計上はなし。

政 務 活 動 報 告 書

令和 6 年10月30日

茅ヶ崎市議会議長 岸 正明 様

絆・新政・新しい風 木山 耕治

令和 6 年10月 9 日から10日までの 2 日間の所管に関する事務の調査をしました結果、次のとおり報告します。

- 1 研修名称 第19回全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡
- 2 参加議員 新倉 真二／木山 耕治／長谷川 由美
- 3 研修日時 令和 6 年10月 9 日（水）から10月10日（木）まで 2 日間
- 4 研修会場 盛岡市民文化ホール（マリオス）
- 5 研修内容 別紙のとおり
- 6 備 考



第19回全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡 参加報告書

研修概要	
内 容	10月9日(水) 第1日目 盛岡市民文化ホール(マリオス) 【基調講演】 「自治体の持続可能性と議会の責任」 ・講師 増田 寛也 氏(元総務大臣、東京大学公共政策大学院客員教授) 【実践報告・パネルディスカッション】 「市議会改革の実践と課題」 ・コーディネーター 井柳 美紀 氏(静岡大学人文社会科学部法学科教授) ・パネリスト 土山 希美枝 氏(法政大学法学部教授) - 越智 大貴 氏([一社]WONDRE EDUCATION代表理事) - 渡辺 嘉久 氏(読売新聞東京本社教育ネットワーク事務局) - 遠藤 政行 氏(盛岡市議会議長) 10月10日(土) 研修2日目 盛岡市民文化ホール(マリオス) 【課題討論】 「主権者教育の取組報告(概要)」 ・コーディネーター 河村 和徳 氏(東北大学大学院情報科学研究科准教授) ・パネリスト 白鳥 敏明 氏(伊那市議会前議長) - 諸岡 覚 氏(四日市市議会議員[元議長]) - 服部 香代 氏(山鹿市議会議長)
考 察	本フォーラムは、全国各地の市議会議員が一堂に会し、地方自治や議会改革、人口減少社会における自治体の役割、市民との信頼関係の構築など、地方議会の在り方を幅広く議論する場である。また、最新の議会改革事例や識者の見解を学ぶことで、今後の議会活動に資することが可能となる。 1. 【基調講演】「自治体の持続可能性と議会の責任」

増田氏からは、特に「人口減少が加速する地域社会における議会の責任」という視点で講演が行われた。地方分権が進む中で、自治体の自立性と政策形成能力の強化が求められており、その中核を担う市議会の存在意義があらためて問われていると強調された。

また、エビデンスに基づいた政策形成の重要性、市民との双方向のコミュニケーションを重視する議会運営の必要性についても言及があり、実務的かつ現実的な改革の必要性を再認識した。

2. 【実践報告・パネルディスカッション】

「市議会改革の実践と課題」

「主権者教育の取組報告（概要）」

(1) 議会BCP（業務継続計画）の策定と災害時の議会機能確保

災害対応において、議会も“止めない”体制づくりが必要であると強調され、実際に災害時に議会としてどのように機能し得るかという点について現場の取り組みが報告された。

(2) 市民参加の議会活動（議会報告会・意見交換会の拡充）

議会の“開かれた姿勢”を形だけでなく本質的な対話の場にする努力がなされており、質の高い住民参加の促進手法として参考となった。

(3) デジタル化と議会改革（オンライン会議、資料共有など）

コロナ禍をきっかけに進んだICT活用を、単なる効率化にとどめず、住民への情報公開や政策形成過程の透明性向上にも活用すべきとの指摘があった。

5. 総括

本フォーラムを通じて、全国各地で進む議会改革の現状と課題を共有することができた。特に、「市民との信頼関係の再構築」と「議会の政策立案能力の強化」は、今後の茅ヶ崎市議会にとっても避けて通れない課題であると再認識した。

茅ヶ崎市においても、すでに市民参加型の取り組みや自治体DX、若年層への主権者教育（こども選挙）など新しい挑戦が

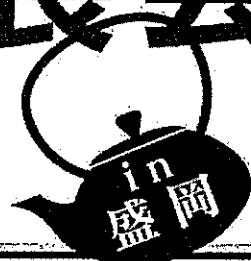
始まっているが、さらに一步踏み込んで、議会の“質”そのものを問い直す機会とするべきである。

今後の議会運営において、他自治体の先進事例を柔軟に取り入れながら、より開かれ、信頼される議会を目指し努力していきたい。



第19回

全国市議会議長会 研究フォーラム



National Association of Chairpersons of City Councils

開催のご案内

▶参加申込み期間

[議長を含めたすべての対象者のお申込み]

令和6年6月24日(月)10時00分～7月12日(金)17時00分

開催日：令和6年10月9日(水)・10日(木)

場 所：トーサイクラシックホール岩手（岩手県民会館）

主催：全国市議会議長会 後援：総務省（予定）

協賛：全国市議会議員互助会、（有）都市企画センター

実施：第19回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

◆開催概要



日 時	第1日目：令和6年10月9日(水) 13時00分開会（開場・受付11:30） 第2日目：令和6年10月10日(木) 9時00分開会（開場8:30）
場 所	フォーラム会場：トーサイクラシックホール岩手（岩手県民会館） 岩手県盛岡市内丸13-1 意見交換会会場：ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING 4F「メトロポリタンホール」 岩手県盛岡市盛岡駅前北通2番27号 ※会場等へのアクセスについては、P.7「会場へのアクセス」をご参照ください。
主 催	全国市議会議長会
後 援	総務省（予定）
協 賛	全国市議会議員互助会、（有）都市企画センター
実 施	第19回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会
テ ー マ	主権者教育の新たな展開（仮）
定 員	2,300名 ・ 申込者が定員を超えた場合は、抽選を行います。 ・ 申込時に「議長優先」を選択した議長については抽選を行わずメイン会場（大ホール）での参加が確定となります。それ以外の申込者については、抽選により「参加（メイン会場）」「参加（中継会場）」「キャンセル待ち」を決定します。 ・ 議会事務局職員の申込みについては、各市区につき1名のみとさせていただきます。 ・ 会場のお席については、自由席とする予定です。 ※詳細は、P.8～P.10「参加申込のご案内」をご参照ください。
参加費	1人 9,000円

◆タイムスケジュール



第1日 10月9日(水) [会場：トーサイクラシックホール岩手（岩手県民会館）]

- 11:30 開場・受付
- 13:00 開会式
- 13:20 基調講演
「人口減少社会における地域の未来図」（仮）
菅 義偉 第99代内閣総理大臣
- 13:50 休憩
- 14:10 パネルディスカッション
「地方議会の課題と主権者教育」（仮）
コーディネーター 井柳 美紀 静岡大学人文社会科学部法学科教授
パネリスト 土山 希美枝 法政大学法学部教授
越智 大貴 一般社団法人WONDER EDUCATION 代表理事
渡辺 嘉久 読売新聞東京本社教育ネットワーク事務局
遠藤 政幸 盛岡市議会議長
- 16:10 次期開催地挨拶
- 16:20 終了
- 17:30 意見交換会
[ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING 4階「メトロポリタンホール」]
- 18:30 意見交換会終了



第2日 10月10日(木) [会場：トーサイクラシックホール岩手（岩手県民会館）]

- 8:30 開場
- 9:00 課題討議
「主権者教育の取組報告」（仮）
コーディネーター 河村 和徳 東北大学大学院情報科学研究科准教授
事例報告者 白鳥 敏明 伊那市議会前議長
諸岡 覚 四日市市議会議員（第83代議長）
服部 香代 山鹿市議会議長
- 11:00 閉会式
- 11:30 視察

※登壇者は、変更になる場合もございます。

出張旅費計算書

摘 要	第19回全国市議会議長会 研究フォーラム 岩手県盛岡市			会派	絆・新政・新しい風		
期 日	令和6年10月9日から10月10日まで 【2日間】			出張者	新倉 真二 木山 耕治 長谷川 由美		
経 路		日数	泊数	キロ数	運賃（円）	急行料金 （円）	金額（円）
茅ヶ崎 — 東 京 （JR東海道本線）		1	1	58.6	9,460	—	15,690
東 京 — 盛 岡 （JR東北新幹線）				535.3		6,230	
盛岡駅 — 県庁・市役所前 （無料シャトルバス）				2.3	0	—	0
県庁・市役所前 — 盛岡駅 （無料シャトルバス）				2.3			
盛岡駅 — 県庁・市役所前 （無料シャトルバス）		1		2.3	0	—	0
県庁・市役所前 — 盛岡駅 （無料シャトルバス）				2.3			
盛 岡 — 東 京 （JR東北新幹線）				535.3	9,460	—	15,170
東 京 — 茅ヶ崎 （JR東海道本線）				58.6		5,710	
計		2	1	1,197.0	18,920	11,940	30,860
	日 数	単 価（円）		人 数	金 額（円）		
日 当	2	2,400		3	14,400		
宿泊料	1	9,000		3	27,000		
夕 食	1	2,000		3	6,000		
研修参加費	1	9,000		3	27,000		
合 計	(交通費)30860円×3人+74400円					166,980	

第19回全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡

令和6年9月27日

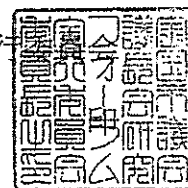
新倉 真二 様

参加費領収書

東京都千代田区平河町2-4-2

第19回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 坊 恭 寿



金 9,000 円 (不課税・消費税対象外)

第19回全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡の参加費として

令和6年10月9日・10日開催(盛岡市)

第19回全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡

令和6年9月27日

木山 耕治 様

参加費領収書

東京都千代田区平河町2-4-2

第19回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 坊 恭 寿



金 9,000 円 (不課税・消費税対象外)

第19回全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡の参加費として

令和6年10月9日・10日開催 (盛岡市)

第19回全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡

令和6年9月27日

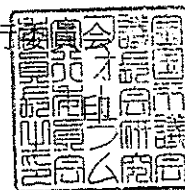
長谷川 由美 様

参加費領収書

東京都千代田区平河町2-4-2

第19回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 坊 恭 寿



金 9,000 円 (不課税・消費税対象外)

第19回全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡の参加費として

令和6年10月9日・10日開催 (盛岡市)

収入印紙

〒020-0024
岩手県盛岡市菜園1-12-18
盛岡菜園センタービル4階

株式会社JTB
盛岡支店
担当者: 支店長
領収証番号: 324394317000287001
登録番号: T8010701012863

領 収 証

絆・新政・新しい風 様

下記のとおり領収いたしました。

領収額合計	27,000円	(税込)
イベント名	第19回全国市議会議長会研究フォーラムin盛岡	
イベント会期	2024年10月09日 ~ 2024年10月10日	
請求額合計	(税込)	内消費税/税区分
	27,000円	2,454円 -
(10%対象)	27,000円	2,454円 -
(8%対象)	0円	0円 ※1
(対象外)	0円	0円 ※2
入金額	27,000円	
請求残額	0円	

※1 軽減税率適用
※2 消費税対象外商品

領収証備考

明細は次頁以降をご参照ください。

領 収 明 細

領収証発行日: 2024年10月31日
2 / 2

領収額合計 27,000円 (税込)

【内訳】

イベント名 イベント会期		第19回全国市議会議長会研究フォーラムin盛岡 2024年10月09日 ~ 2024年10月10日				
申込日	ご利用日・内容	本体単価 (税込)	数量	本体合計 (税込)	税区分 内消費税	
2024年09月24日	2024年10月09日 東横INN盛岡駅南口駅前(シング ル／一泊朝食付) 長谷川 由美 様	9,000円	1	9,000円	10%	
2024年09月24日	2024年10月09日 東横INN盛岡駅南口駅前(シング ル／一泊朝食付) 新倉 真二 様	9,000円	1	9,000円	10%	
2024年09月24日	2024年10月09日 東横INN盛岡駅南口駅前(シング ル／一泊朝食付) 木山 耕治 様	9,000円	1	9,000円	10%	
① 請求額合計				27,000円	2,454円	
		(10%対象)		27,000円	2,454円	
		(8%対象 ※1)		0円	0円	
		(対象外 ※2)		0円	0円	
② 入金額				27,000円		
③ 請求残額				0円		

※1 軽減税率適用
※2 消費税対象外商品

政 務 活 動 報 告 書

令和 6 年 11 月 30 日

茅ヶ崎市議会議長 岸 正明 様

絆・新政・新しい風 木山 耕治

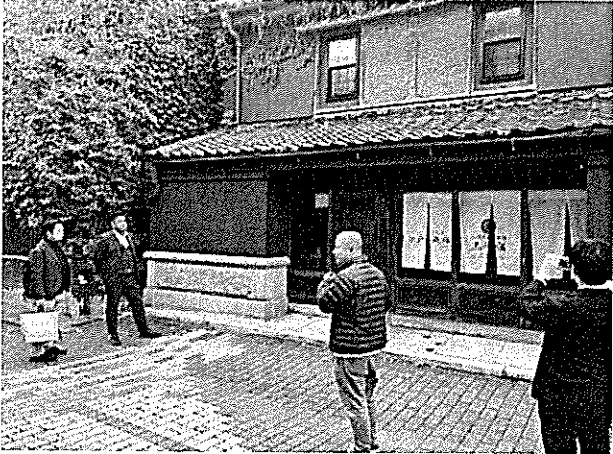
令和 6 年 11 月 19 日から 20 日までの 2 日間の所管に関する事務の調査をしました結果、次のとおり報告します。

- 1 研修名称 関東若手議員の会 公式研修 in 神奈川
- 2 参加議員 木山 耕治
- 3 研修日時 令和 6 年 11 月 19 日（火）から 11 月 20 日（水）まで 2 日間
- 4 研修会場 神奈川県三浦市・横須賀市
- 5 研修内容 別紙のとおり
- 6 備 考



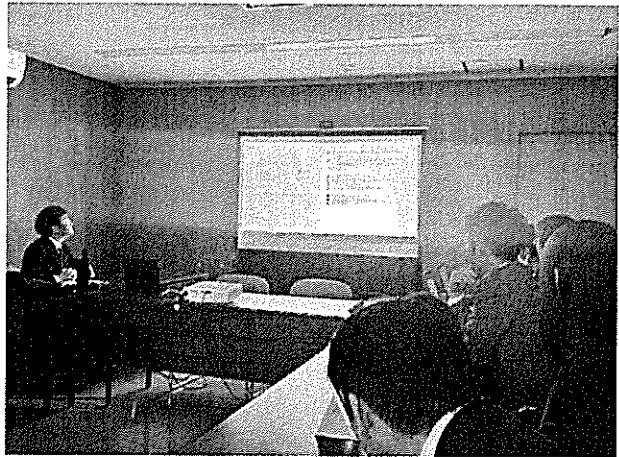
関東若手議員の会 公式研修 in 神奈川 参加報告書

研修概要	
内 容	11月19日(火) 研修1日目 三浦市 【研修1】 「分散型ホテル事業に学ぶ観光コンテンツ再発見」 ・会場：三浦宿 酒宿 山田屋（三浦市三崎4-8-10） ・講師：鈴木 雄二 氏（ミウラトラスト株式会社 代表） 【研修2】 「神奈川版ライドシェアの効果と今後の展望」 ・会場：三浦フィッシャリーナ・ウオーフ うらり 研修室 （三浦市三崎5-3-1） ・講師：三浦市役所 政策部政策課 【研修3】 「三浦市の農業振興、地域政策について」 ・会場：三浦フィッシャリーナ・ウオーフ うらり 研修室 （三浦市三崎5-3-1） ・講師：三浦市役所 経済部農産課 【研修4】 「議員のセカンドキャリアについて」 ・会場：三浦フィッシャリーナ・ウオーフ うらり 研修室 （三浦市三崎5-3-1） ・講師：嘉山 淳平 氏（シテコベ代表取締役CEO）
	11月20日(水) 研修2日目 三浦市・横須賀市 【視察1】 「三浦市低温卸売市場」 ・会場：三浦市低温卸売市場（三浦市三崎5-245-7） 【視察2】 「よこすか近代遺産ミュージアム ティボディエ邸」 ・会場：横須賀市ヴェルニー公園内（横須賀市汐入町1-1）

	【視察３】 「YOKOSUKA軍港めぐり」 ・会場：横須賀本町２－１－１２) 【視察４】 「猿島ガイドツアー」※中止
考 察	本研修は、地域資源の活用による観光振興や、地域交通の課題、新たな農業政策、地方議員のキャリア形成など、地域に根差した様々なテーマについて学び、今後の自治体運営や議会活動に活かすことを目的として実施された。 【研修１】 「分散型ホテル事業に学ぶ観光コンテンツ再発見」 ミウラトラスト株式会社の取り組みを通じて、空き家を活用した分散型宿泊施設の仕組みを学んだ。観光資源の再発掘と地域の回遊性向上に貢献している点は、ホテルの供給が限られている茅ヶ崎市にとっても、今後の観光戦略を考える上で大きなヒントとなる好事例であった。  【研修２】 「神奈川版ライドシェアの効果と今後の展望」 三浦市政策課より、ライドシェアの実証実験について説明を受けた。県主導による取り組みであるが、まだまだ普及には至っておらず、いかに新規事業者の参入を促すかが課題である。交通空白地域や高齢者の移動支援を視野に、今後の制度設計が重要であると感じた。 【研修３】 「三浦市の農業振興、地域政策について」

都市近郊型農業を展開する三浦市の取り組みとして、ブランド農産品の品質管理や後継者不足への対策などが紹介された。

茅ヶ崎市と三浦市では農業形態に違いがあるものの、担い手不足や地産地消の推進など共通する課題も多い。地域ごとに合った農業のあり方を再考する必要性を感じた。



【研修4】

「議員のセカンドキャリアについて」

元横須賀市議である嘉山氏から、議員引退後のキャリア設計や現在経営する企業「シテコベ」の事例を踏まえた講演を受けた。地方議員としての経験をいかに社会に還元していくかという視点は、今後の人生設計を考える上で大変示唆に富む内容であった。

【視察1】

「三浦市低温卸売市場」

早朝に市場を訪問し、冷凍マグロや地魚の取引の様子を見学。水産業が地域経済に果たす役割や、鮮度管理・物流の工夫などについて学んだ。



【視察2】

「よこすか近代遺産ミュージアム ティボディ邸」

日本の近代化の礎となった横須賀製鉄所の歴史を学び、地域の歴史資源を観光や学習資源として活用する手法を確認できた。文化財を守りながら発信する仕組みは、他自治体でも参考にできる内容である。

【視察3】

「YOKOSUKA軍港めぐり」

横須賀港に隣接する日米の基地を周遊するクルーズを体験。安全保障と地域経済・観光振興の両立を考える上で、貴重な学びとなった。軍港を観光資源として活かす発想は、地域の特性を逆手に取った優れた取り組みといえる。

【総括】

本研修では、観光・交通・農業・歴史資源の活用、議員のキャリア形成といった多様なテーマに触れ、地域の実情に即した政策の在り方を具体的に学ぶことができた。茅ヶ崎市の今後のまちづくりや課題解決に資する視点も多く、大変有意義な視察であった。



2024 年 11 月吉日

関東若手議員の会 会員各位



関東若手議員の会

会長 藤條 たかゆき (東京都多摩市議会)

関東若手議員の会 公式研修 in 神奈川のご案内

拝啓 向寒の候、議員各位におかれましてはますますご活躍のことと存じます。

さて、この度、関東若手議員の会 神奈川エリアにおいて、下記の通り研修を開催いたします。
ご多用のこととは存じますが、多くの皆様にご出席賜りますようご案内申し上げます。

敬具

記

【日 程】2024 年 11 月 19 日 (火)・20 日 (水)

【開催場所】神奈川県三浦市・横須賀市 (現地開催、一部 online 有)

【参加費】1000 円 (プログラムにより別途／オブザーバーも同額)

11 月 19 日 (火) ≪開催地：三浦市≫

11:00 – 12:00	(オプション 01) 【現地視察】「分散型ホテル事業に学ぶ観光コンテンツ再発掘」 集合場所：三崎宿 酒宿山田屋 前 (神奈川県三浦市三崎 4-8-10) 講師：ミウラトラスト株式会社 代表 鈴木雄二 参加費：無料 内容：分散型ホテル事業からどのような観光振興ができるのか説明を頂きながら三崎下町の文化を感じていただく街歩き企画です。 (三崎宿 HP： https://misakijyuku.jp/)
12:15 – 13:30 (online 可)	昼食 & 関東役員会 (該当者のみ) 会場：庄和丸 (神奈川県三浦市三崎 5-2-1 香山第 3 ビル 2F) 参加費：各自昼食代 (※役員以外の方も昼食とれます) (庄和丸 HP： http://kayama-co.com/)
13:45 – 15:15 (online 可)	研修① 【現地開催】「神奈川県版ライドシェアの効果と今後の展望」 講師：三浦市役所 政策部政策課 会場：三崎フィッシャリーナ・ウォーフ うらり 2F 研修室 (神奈川県三浦市三崎 5-3-1) 参加費：無料 内容：神奈川県版ライドシェア「かなライド@三浦」の実証実験の進捗について説明を頂きます。 (うらり HP： https://www.umigyo.co.jp/)

15:15 – 16:30 (online 可)	研修② 【現地開催】「三浦市の農業振興、地域計画について」 講師：三浦市役所 経済部農産課 会場：三崎フィッシャリーナ・ウォーフ うらり 2F 研修室 (神奈川県三浦市三崎 5-3-1) 参加費：無料 内容：首都近郊型露地栽培が主流の三浦市の農業、後継者問題や三浦ブランドの品質管理など地域計画の進捗とともに説明を頂きます。
16:30 – 17:30 (online 可)	研修③ 【講演】「議員のセカンドキャリアについて」 講師：シテコベ代表取締役 CEO 嘉山淳平 会場：三崎フィッシャリーナ・ウォーフ うらり 2F 研修室 (神奈川県三浦市三崎 5-3-1) 参加費：無料 内容：元若手議員の会メンバー（元横須賀市議）である嘉山氏が現在経営されている「シテコベ」の話を基に、議員のセカンドキャリアについてご講演頂きます。 (シテコベ HP： https://www.shitekobe.com/)

※ライドシェア増便して頂くよう市役所にお願いしました。ぜひ体験乗車を。

(ライドシェア/タクシーの乗車には GO アプリが必要です：<https://go.goinc.jp/>)

11 月 20 日（水曜）《開催地：横須賀市》

7:50 – 8:20 (注：三崎)	(オプション 02) 【現地視察】「三浦市低温卸売市場見学」 集合場所：三浦市低温卸売市場前（三浦市三崎 5-245-7） 内容：三崎の冷凍マグロの取引、地魚の取引を見学します。
10:00 – 11:00	研修④ 【現地視察】「よこすか近代遺産ミュージアム ティボディエ邸」 会場：神奈川県横須賀市汐入町 1 丁目 1 ヴェルニー公園内 参加費：無料（3D シアター鑑賞料） 内容：横須賀製鉄所副首長であったティボディエの官舎を移設して作られたミュージアム。日本近代化の礎となった横須賀製鉄所の歩みを学びます。 (よこすか近代遺産ミュージアム HP： https://thibaudier-yokosuka.com/)
11:00 – 12:00	研修⑤ 【現地視察】YOKOSUKA 軍港めぐり 会場：神奈川県横須賀市本町 2-1-12 参加費：無料 内容：米海軍横須賀基地並びに海上自衛隊横須賀基地に接する横須賀港の軍港めぐりクルーズを通した観光振興を体験します。 (YOKOSUKA 軍港めぐり HP： https://yokosuka-gunko.jp/)

12:30 – 13:30	昼食 会場 : 「横須賀ビール」 神奈川県横須賀市大滝町 1-23 参加費 : 各自昼食代 (横須賀ビール HP : https://b385706.gorp.jp/)
(待ち時間)	三笠公園見学 (希望者のみ 記念館三笠 観覧料 600 円)
14:30 – 16:00	(オプション 03) 【現地視察】「猿島ガイドツアー」 会場 : 猿島 (神奈川県横須賀市汐入町 1 丁目 1 ヴェルニー公園内) 参加費 : 2000 円 (乗船往復 + 猿島港園入園料) 内容 : かつて東京湾防衛の要だった猿島要塞。現在はアートイベントやコスプレイベントなどで賑わう戦争遺構の活用を学びます。 (猿島 HP : https://sarushima.jp/)

【申し込みはこちらのリンクから (調整さん)】

→ (<https://chouseisan.com/s?h=24f247db2df84e0f962e66bed95c56d0>)

※席や資料の用意の関係もありますので **11/15 (金)** までに入力をお願いいたします。

■宿泊に関して

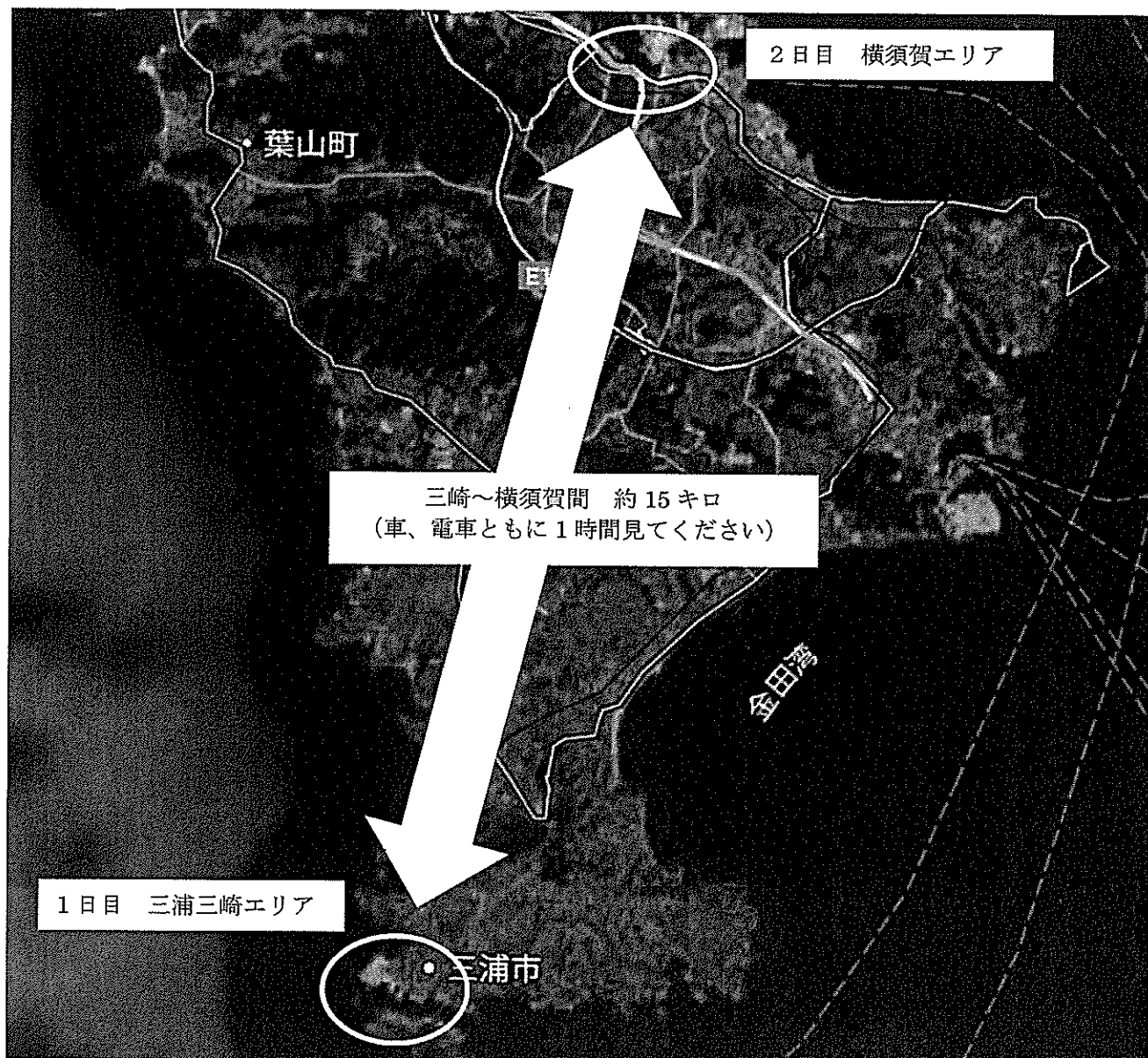
1 日目は三浦市三崎ですが、周辺にビジネスホテルがありません。オプション研修の一棟貸しの宿か、簡易宿泊施設、民宿などになります。個室じゃなくても良ければ皆で大部屋に泊まるのも一興ですね。(下記にいくつか提示しますが、詳しい情報は、出口までご連絡ください。)

- ① 分散型ホテル【三崎宿】各部屋 (1 人で泊まるには割高。複数で泊まれば一人 1 万程度)
(HP : <https://misakijyuku.jp/>) ※こちらを希望の場合は必ず予約前に出口まで
- ② RSD Village ゲストハウス風コンドミニアム (個室あり)
(HP : <https://www.rsd-village.com/>)
- ③ 三崎館本店 (HP : <https://www.misakikan.com/>)
- ④ しまや旅館 (<https://miura-info.ne.jp/hotel-misaki/hotel-2/>)
- ⑤ その他、【城ヶ島地区 (タクシー 10 分)】に PEN 宿ひこや、さんご荘、港屋、城ヶ島クラブ、CARO FORESTA 等、民宿、ホテルがあります。【諸磯地区 (タクシー 10 分)】にでぐち荘、【三浦海岸地区 (タクシー 15 分)】にマホロバマインズ、しおさい、根本荘、しろべ荘、魚萬、丸長荘、鈴松旅館等、ホテル、旅館があります。

■三浦～横須賀の移動に関して (必読)

- ① 車の場合 1 日目の三崎～2 日目の横須賀汐入まで車で約 1 時間かかります。
(1 日目の駐車場は宿の駐車場か、周辺コインパーキング。2 日目の駐車場はショッピングモール「コースカ」、その他周辺駐車場をご利用ください)
- ② 公共交通機関の場合 (2 日目の移動) 三崎周辺で宿泊すると、1 時間半見たほうがいいです
例) 8:35 三崎港バス停乗車 → 9:13 三崎口発 → 9:40 汐入着 → 徒歩約 10 分で現地

■周辺図イメージ（広域）



以上

【問合せ】

神奈川エリア事務局 木山こうじ（茅ヶ崎市議）
080-3004-5023
kiyamakoji@gmail.com

【三浦横須賀の事に関する問い合わせ】

神奈川エリア代表 出口景介（三浦市議）
090-5303-7573
keisuke.deguchi1988@gmail.com

出張旅費計算書

摘 要	関東若手議員の会 総会及び公式研修in神奈川 神奈川県三浦市・横須賀市			会派	絆・新政・新しい風		
期 日	令和6年11月19日から11月20日まで 【2日間】			出張者	木山 耕治		
経 路		日数	泊数	キロ数	運賃 (円)	急行料金 (円)	金額 (円)
茅ヶ崎 — 大 船 (JR東海道本線)		1	0	12.1	680	—	910
大 船 — 久里浜 (JR横須賀線)				23.9			
久里浜 — 三崎口 (京急久里浜線)				8.9	230	—	
三崎口 — 久里浜 (京急久里浜線)				8.9	230	—	910
久里浜 — 大 船 (JR横須賀線)				23.9	680	—	
大 船 — 茅ヶ崎 (JR東海道本線)				12.1			
茅ヶ崎 — 大 船 (JR東海道本線)		1	0	12.1	680	—	910
大 船 — 久里浜 (JR横須賀線)				23.9			
久里浜 — 三崎口 (京急久里浜線)				8.9	230	—	
三崎口 — 久里浜 (京急久里浜線)				8.9	320	—	320
久 里 浜 — 横須賀中央 (京急久里浜・本線)				6.9		—	
横須賀 — 大 船 (JR横須賀線)				15.9	510	—	510
大 船 — 茅ヶ崎 (JR東海道本線)				12.1		—	
計		2	0	178.5	3,560	0	3,560
		日 数		単 価 (円)		金 額 (円)	
日 当		2		1,200		2,400	
研修参加費		参加費		1,000		1,000	
		猿島ガイドツアー ※中止		—		—	
合 計						6,960	

領収証

絆-新政-新しい風 様

1,000円

但し、関東若手議員の会 神奈川公式研修費 として

令和6年11月19日



関東若手
議員の会

関東若手議員の会 会長
藤條 たかゆき